

**平成30年度
社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
事業報告**



平成30年度事業報告

＜平成30年4月1日～平成31年3月31日＞

I 事業報告の概要

(1) 地域見守りサポーター養成研修

より多くの市民が気軽に、無理なく見守り活動に協力いただけるようゆるやかな見守りの方法から参加いただくための出前講座を、市・区社協の職員が講師となり開催しました。地域活動の担い手として、福まち活動者の確保にも貢献しています。

平成22年度の事業開始以降、受講者は全市で10,634人となり、当初目標としていた1万人を達成しました。

(2) 地域見守りネットワーク推進会議

地域（地区福まち）と各種民間事業者等が連携した重層的な見守りの仕組みづくりに向けて、地域見守りネットワーク推進会議を開催し、体制整備に取り組みました。

平成30年度からは、各区域での見守りネットワーク推進会議の開催に加えて、地区でも福まちと事業者の研修会・顔合わせ等を行うことで連携を強化し、各地区での見守り・訪問体制の整備に努めました。

(3) ふれあい・いきいきサロンの登録及び助成

孤立死や悪質商法被害の防止、認知症の早期発見等に成果を上げています。

平成13年の事業開始当初約70だった登録数は、713サロンまで増えました。（高齢者529・子育て119・障がい1・複合64）

(4) 企業、団体等による除雪ボランティア活動

自力で除雪することが困難な高齢者・障がい者世帯等を対象に、福祉除雪では活動対象外となる場所（窓・灯油タンク・ガスボンベ周辺等）を中心とした除雪支援を企業・団体の協力を得て実施しました。

（実施世帯：45世帯、協力者：13企業・団体、307名）

(5) ボランティア活動センター各種研修

ボランティア活動センターでは、研修体系を福祉啓発、ボランティア一般、地域活動者研修、各種登録活動者研修、介護力向上研修、福祉事業従事者研修の6体系に分類し、市民にボランティア活動の魅力や心構え、技術などを伝えてきました。

社会福祉総合センター保全工事、胆振東部地震による影響もありましたが、159研修を終了しました。

(6) 生涯現役セミナー(10月30日)

シニア世代の地域デビューやボランティア活動への参加促進することを目的に開催しました。

講師の柴川明子さん（むくどりホーム・ふれあいの会）の夢を追い続ける姿に、参加者は、明日からできる現役で活躍し続けられる準備と心構えについて認識を新たにしていました。

後継講座である「シニア世代のためのボランティア講座」に申し込まれた参加者もあり、シニア世代の地域・ボランティア活動に対して重層的な支援を行う機会となりました。（66名参加）

(7) 障がい当事者スピーチマラソン (6月23日)

第3回目となる今回は、社会福祉総合センターが保全工事で使用できないことから会場を変更し規模も縮小して開催しました。それでも多くの運営スタッフの協力の下、200名を超える聴講者に対して当事者が生の声を届けました。来場者アンケートでも今後の継続開催を望む意見を多数いただき、共生社会への理解を深めるために必要な事業となりました。

(8) 障がい者のスポーツ・遊び体験事業

7月から3月にかけて、延べ17事業所98名の方が、ばんけいスキー場において夏季(7~10月)はパークゴルフや散策、冬季(1~3月)はチューブ遊びやそり遊びなどを楽しみました。

この事業は、賛助会費を財源として、(株)太陽グループ、札幌市知的障がい福祉協会との共催により、参加者の安全確保やスポーツや遊びをともに楽しむボランティアが参加しており、多様な方との連携によって実施しています。

(9) 札幌市介護サポートポイント事業

介護サポーターの登録者数と活動頻度の増大のための受入施設種別の拡大の周知を図るため、説明会を開催しました。4回の開催で、67事業所(75名)が参加し、平成31年3月31日時点で計26施設(うちデイサービス(2)、グループホーム(10)、小規模多機能(8)、看護小規模多機能(1)、認知症カフェ(5)が新たに指定を受けました。

(10) 災害支援ボランティアの養成と研修の実施(12月19日)

ボランティア活動センターに「災害ボランティア」として登録している方に、「札幌市の水害について」学ぶとともに、「今回の地震災害時のボランティア活動」の情報共有を行うことにより、札幌市での災害時に「災害ボランティア」として活躍いただけるようスキルアップを図ることを目的に開催しました。

(33名参加)

(11) 地域密着型サービス

昨年5月、南区に「まもりんガーデン澄川」を開設し、延べ620名の方が利用されています。利用者の傾向としては、8割が認知症で占められ、若年性認知症の方の利用もありました。

定期の活動として集団体操、個別運動、口腔体操、生活機能訓練等を行い、季節行事は外出行事や庭でのバーベキュー等を企画提供し好評でした。

(12) 生活機能向上支援事業

生きがいづくりや自立した生活の継続を支援することを目的として、老人福祉センターで栄養士及び作業療法士の協力を得て講座を実施しています。日常生活に必要な家事能力の維持又は向上につながる実践的な内容で、8老人福祉センターで延べ874名が参加しました。

対象者の発掘や開催の協力などについて、地域包括支援センターや介護予防センター、区社協等と連携して取り組んでいます。

(13) 札幌市生活支援体制整備事業

平成30年11月より、全市の地域包括支援センターエリアごとに第2層生活支援コーディネーター(生活支援推進員)が1名ずつ配置となり、本会は、平成29年度から先行して実施していた北区の3エリアに加えて、新たに12エリアを受託しました。

地域の多様な主体により、高齢者の生活課題(話し相手、外出支援、掃除

など) に対し、住民同士で支え合う体制づくりを進めるため、各エリアで社会資源の発掘・開発、協議体の開催、担い手養成・組織化等に取り組みました。

(14) さっぽろ子育てサポートセンター

新規に会員登録した提供会員を対象に、活動に必要な知識及び技術の習得を図るため、講習会を実施しています。本年度より更に安全な活動を行うため、従来の9時間の講習内容に「子どもの救急救命」が加わり、計11時間の講習となりました。赤十字幼児安全法の指導員から、怪我と止血法、AEDを含む蘇生法等を熱心に学びました。

(15) 札幌市長生園運営事業

例年駐車場を活用して実施している長生園夏祭りを、今年度は猛暑のため、急遽園内で開催しました。多くの方々が最後まで参加され、盆踊りや縁日等ご家族と一緒に楽しまれました。

園行事などの参加に消極的な入園者が、また笑顔で参加されるよう、入園者からの声に日々耳を傾け、次回に向けた取り組みについて検討していきます。

(16) 介護職員初任者研修

介護従事者の不足は社会問題化する中、独自に講座を開催しヘルパー職の養成に力を注いでいます。

各ヘルパーセンターで指導的な立場も担っている主任職の職員をはじめ、課長や所長、研修係の専任職員が講師となって、現場ならではの技術と理念、そしてこの仕事のすばらしさを伝えています。

(17) 終活事業

高齢化の進行に伴い関心が高まってきている「終活」について、社会福祉総合センターとしても「わたしの生き方・逝き方セミナー」と題して取り組みました。

月1回、「生き方・逝き方」に関する様々なテーマを設定して、講座を開催し、併せて相談も実施しました。毎回多くの方の参加をいただき関心の高さがうかがえました。

(18) 福祉用具機器展 in さっぽろ2018 (11月9日、10日)

高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で安全安心に暮らしていくために、「福祉用具」を身近なものとして知ってもらうことを目的として、最新の福祉用具の展示や、各種セミナーを実施しました。多くの福祉専門職、学生をはじめ市民の方々に福祉用具を理解していただく機会となりました。

(1,020名参加)

(19) 広報・啓発活動

イメージキャラクター「まもりん」の認知度向上を図ることで社協を広く知ってもらうことを目的に、「ゆるキャラグランプリ」にエントリーしました。

また、本年度から使用している市社協のシンボルマークについて、PR用のバッジを作成し、ご寄附をいただいた市民の皆さまに広く配布しました。

(20) カレーパンワークショップ（プロボノ事業）

札幌の人気カレー店インドカレー・ミルチと障がい者就労支援事業所ていねさくら館が協働で、新感覚のカレーパンの製作を行いました。札幌では初めての試みです。

市社協のコーディネートによって、企業が持つスキルや知識を生かして障がい者支援につなげる仕組みが一つ実現しました。

10月に試食会、11月の福祉用具機器展でのテスト販売を経て商品化され、各種メディアにも広く取り上げられました。

Ⅱ 重点事業項目

1 地域福祉の推進

- (1) 福祉のまち推進事業の充実
- (2) ふれあい・いきいきサロン事業の拡充
- (3) 福祉除雪事業の充実

2 ボランティア活動の振興・普及

- (1) ボランティア活動の振興・普及の強化
- (2) 札幌ときめき大学の開校
- (3) 札幌市介護サポートポイント事業

3 権利擁護事業の推進

- (1) 日常生活自立支援事業の推進
- (2) 成年後見に関する事業の推進
- (3) 市民後見推進事業の実施
- (4) 権利擁護を推進する各種相談事業の推進

4 生活困窮者自立支援

- (1) 各種資金貸付事業の推進

5 自主事業による在宅福祉サービス

- (1) 地域支え合い有償ボランティア事業
- (2) さわやかヘルプサービス

6 介護保険法等による在宅福祉サービス

- (1) 訪問介護、介護予防訪問介護及び札幌市日常生活支援総合事業
- (2) 地域密着型サービス事業
- (3) 居宅介護支援及び介護予防支援事業
- (4) 特定入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業
- (5) 通所介護、介護予防通所介護及び札幌市日常生活支援総合事業
- (6) 医療保険法等による訪問看護、介護保険法による訪問看護及び介護予防訪問看護事業
- (7) 障害者総合支援法による在宅福祉サービス事業

7 札幌市からの委託による各種保健福祉事業

- (1) 札幌市高齢者生活支援型ホームヘルプサービス事業
- (2) 札幌市養育支援員派遣事業
- (3) 札幌市地域包括支援センター運営事業
- (4) 札幌市介護予防センター運営事業
- (5) 自主活動化支援事業
- (6) 生活機能向上支援事業
- (7) 札幌市短期集中予防型訪問指導事業
- (8) 札幌市要介護認定調査事務事業
- (9) 札幌市高齢者生活支援型ショートステイ事業
- (10) さっぽろ子育てサポートセンター事業
- (11) 札幌市生活支援体制整備事業の実施

8 指定管理施設の管理運営

- (1) 養護老人ホーム札幌市長生園

- (2) 老人福祉センター
- (3) 老人休養ホーム札幌市保養センター駒岡
- (4) 札幌市社会福祉総合センター

9 障がい者支援の取組

- (1) 障がい者講師養成・派遣事業
- (2) 障がい者のスポーツ・遊び体験事業

10 広報・啓発活動

- (1) 市民への福祉情報の提供と広報・啓発活動の充実強化
- (2) 広報戦略会議の設置・運営

11 社協組織の運営

- (1) 経営強化の取組
- (2) 職員確保・育成強化

Ⅲ 計画事業項目

〔1〕地域福祉の推進

(1) 地区社協の活動強化

①地域の福祉活動計画づくりの実施に向けた検討

(2) 福祉のまち推進事業の充実（区・地区福祉のまち推進センター支援事業）

福祉のまち推進事業の充実《1（1）》

コミュニティソーシャルワーク機能の強化を図り、職員の地域福祉推進にかかわる援助技術を向上させ、福まち事業における身近な生活圏域（地区・単町）での支え合い活動（見守り・訪問等）をより一層推進します。



また、地域共生社会の実現に向け、地区福まちにおけるコーディネート機能を強化し、身近な地域ならではの活動として、ゴミ出しや除雪など、見守り・訪問からもう一步踏み込んだ日常生活支援の拡充に努めます。

①単位町内会範囲の組織（福祉推進委員会等）づくりの推進

《福祉推進委員会設置状況推移》

	導入地区数・設置単町	単町単位設置地区	ブロック単位設置地区
H24	72 地区 1,175 単町	66 地区 927 単町	6 地区／25 ブロック 198 単町範囲
H25	76 地区 1,200 単町	70 地区 1,002 単町	6 地区／27 ブロック 198 単町範囲
H26	82 地区 1,296 単町	76 地区 1,101 単町	6 地区／31 ブロック 195 単町範囲
H27	76 地区 1,255 単町	70 地区 1,087 単町	31 地区／ブロック 168 単町範囲
H28	77 地区 1,270 単町	71 地区 1,103 単町	6 地区／31 ブロック 167 単町範囲
H29	80 地区 1,295 単町	74 単町 1,133 単町	6 地区／31 ブロック 162 単町範囲
H30	(令和元年6月以降に集計)		

《福まち活動者の推移》

[単位：名]

	合計	運営委員	福祉推進員	住民協力員	その他
H24	12,297	1,803	6,233	4,005	256
H25	12,796	1,776	6,868	3,718	434
H26	13,166	1,749	6,979	3,925	513
H27	13,255	1,818	7,149	3,780	508
H28	13,356	1,805	7,495	3,656	400
H29	13,077	1,824	7,351	3,582	320
H30	(令和元年6月以降に集計)				

②福まち発 地域福祉市民活動フォーラムの開催

〔開催日〕平成30年9月19日

〔場所〕札幌市民ホール

〔内容〕

・基調講演

「住民主体による地域課題の解決について

～地域共生社会づくりに向けて～

（講師）愛知教育大学(教育支援専門職課程福祉コース) 教授 川島ゆり子 氏

・シンポジウム（実践発表）

「お互いに支え合うぬくもりある地域づくりを目指して

～今後の福祉推進委員会活動と福まちの役割を考える」

（発表者）手稲区富丘西宮の沢地区福祉のまち推進センター 事務局長 久瀧 洲一 氏

・手稲区富丘西宮の沢地区富丘東一町内会 福祉部長 竹谷 英子 氏

〔参加者〕905名

③福まちウィーク事業の実施

ア 福まち活動パネル展の開催

〔内容〕福まちに対する市民理解と活動への参加促進を図ることを目的に、福まち活動の様子を記録した写真パネル等の展示を「福まちウィーク」期間中に開催。

〔展示期間〕平成30年9月15日～21日

〔展示場所〕オーロラスクエア（地下街オーロラタウン内）

イ 福まち活動写真及び広報紙コンクールの開催

〔内容〕福まち活動の様子を記録した「活動写真」と地区での取り組みを紹介した「広報紙」のコンクール及び作品の展示を通じて、福まち実践者の取り組みを賞賛し、多くの市民に地区福まち活動に対する理解と参加促進を図ることを目的に開催。

〔展示期間〕平成30年9月15日～21日

〔展示場所〕オーロラスクエア（地下街オーロラタウン内）

〔応募数〕

（写真）85作品（51地区）、13作品（11単位町内会）

（広報紙）37作品（37地区）

〔受賞団体〕

（写真部門／地区福まちの部）

・札幌市長賞：札幌地区福まち 札幌市社協会賞：北栄地区福まち

・審査委員特別賞 2地区 佳作 6地区

（写真部門／単町・自治会の部）

・札幌市長賞：あいの里1条4丁目町内会 札幌市社協会賞：山鼻第11町内会

・審査委員特別賞 2町内会 佳作 2町内会

（広報紙部門）

・札幌市長賞：前田地区福まち 札幌市社協会賞：新琴似地区福まち

・審査委員特別賞 2地区 佳作 6地区

〔表彰式〕平成30年9月19日 札幌市民ホール

ウ 小学生の描く「人にやさしい福祉のまちづくりポスター作品展」の開催

〔内容〕未来を担う子どもたちに、すべての人々が住み慣れた地域で

安心して生活できるような、「人にやさしい福祉のまちづくり」のイメージを伝えるポスター展への参加を通じて、福祉に対する意識の啓発を図るとともに、出展作品の展示等により、多くの市民に地域福祉活動の理解と参加促進を図ることを目的に開催。

〔応募数〕 332作品（45校）

〔展示期間〕 平成30年9月15日～21日

〔展示場所〕 オーロラスクエア（地下街オーロラタウン内）

〔受賞者〕

札幌市長賞 上野幌西小学校 6年生

札幌市社協会賞 平岸高台小学校 6年生

上野幌西小学校 6年生

審査委員特別賞 受賞者4名 佳作 受賞者23名

〔表彰式〕 平成30年9月16日 札幌すみれホテル

④見守り・訪問活動強化事業の実施

ア 地区福まちにおける支え合い（見守り・訪問等）活動の拡充

〔内容〕 毎月3日を「見守り・訪問の日」として制定し、市民が、「見守り・訪問活動」を意識し、日常生活に取り入れてもらえるよう地区福まちと一体となったPR活動を行うと共に、企業等への働きかけを行う。

《対象者の把握・支援状況》

〔単位：世帯〕

	合計	一人暮らし高齢者世帯	高齢夫婦のみ世帯	障がい者世帯	子育て世帯	その他
H24	56,283	38,413	11,573	460	5,410	247
H25	56,553	38,350	13,229	430	4,404	140
H26	55,447	37,882	13,174	390	3,742	259
H27	54,135	39,140	11,803	363	2,429	400
H28	58,001	42,645	11,973	621	2,369	393
H29	60,306	41,986	15,607	780	1,499	434
H30	(令和元年6月以降に集計)					

《対象世帯への日常支援状況》

〔単位：世帯〕

	合計	訪問	見守り(電話・外から)	除雪支援	外出・訃儀支援	家事・育児支援	介護支援
H24	59,045	33,369	20,725	1,954	414	2,303	280
H25	62,749	30,093	28,340	2,306	536	1,399	75
H26	66,117	29,656	32,044	2,413	699	1,271	34
H27	62,779	33,452	25,131	2,110	355	1,651	80
H28	66,408	38,160	24,426	2,113	159	1,510	40
H29	73,398	38,576	30,776	2,778	243	904	121
H30	(令和元年6月以降に集計)						

イ 企業等への働きかけ（担い手の確保・育成）

〔内容〕 毎月3日を「見守り・訪問の日」として制定し、市民が「見守り・訪問活動」を意識し、日常生活に取り入れてもらえるよう、地区福まちと一体となったPR活動を行うと共に、企業等への働

きかけを行う。

〔作成物〕ポスター（A2版850枚・A3版（縦）430枚・（横）50枚）

〔掲示企業〕・北海道新聞社 販売局 : 100枚
 ・明治安田生命保険 相互会社 札幌支社 : 45枚
 ・株式会社 セブン-イレブン・ジャパン : 340枚
 ・佐川急便 株式会社 : 10枚
 ・株式会社 ツルハホールディングス : 101枚
 ・株式会社 セコマ（セイコーマート） : 350枚
 ・株式会社 エンパイアー : 80枚
 ・北海道コカ・コーラボトリング 株式会社 : 70枚
 ・第一生命保険 株式会社 : 30枚
 ・日本郵便 株式会社 : 227枚
 ・区社協・区役所・区民センター・地区福まち
 消防署（出張所含む） : 170枚

ウ 新たな福祉人材の発掘への支援（地域守りサポーター養成研修）

〔内容〕日常生活の中で「なんとなく気にかける」程度の見守りにより高齢者等の安否を確認し異変に気づいた際には、行政や地域の民生委員等に連絡する「地域見守りサポーター」を養成することを目的に実施。

また、サポーターの養成を通じて、福まち活動の理解促進と今後の担い手の発掘にもつながるよう事業展開を図る。

〔単位：名・回〕

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
受講者数	734	682
実施回数	26	26

〔単位：名・団体〕

		単位町内会	連合町内会	福祉推進委員会	福祉のまち推進センター	地区社会福祉協議会	老人クラブ	民生委員児童委員協議会	ボランティア団体	企業	学校	その他	合計
22~29年度	人	1,272	363	140	1,071	266	1,169	260	154	1,090	1,822	2,293	9,900
	団体	59	8	9	25	5	33	9	7	12	10	68	245
30年度	人	148	0	0	0	87	56	0	0	270	11	162	734
	団体	8	0	0	0	2	1	0	0	5	1	9	26
合計	人	1,420	363	140	1,071	353	1,225	260	154	1,360	1,833	2,455	10,634
	団体	67	8	9	25	7	34	9	7	17	11	77	271

⑤福まちコーディネート機能強化事業の実施

〔内容〕今後の地区福まち活動に重要となる「コーディネート機能」を強化するための取組として、地区福まちの関係者が、「福まちにおけるコーディネート機能の必要性・重要性」について、理解と共通認識を高めるための研修会を昨年度に引き続き開催。

ア 地区福まちコーディネート機能強化にかかわる区別研修会の開催支援

《参加対象・定員》

対象：各地区の代表者（地区社協会長等、地区福まちセンターの運営委員長・事務局長・部会員等）や、地域の関係組織（町内会・民児協等）、福祉・医療の専門機関等

定員：概ね100～200名程度

《区別研修会の基本的な開催内容：講義→実践発表》

開催日：10～12月の期間中1日（10区）

講義：講師は大学教授等

テーマ「地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について」

実践発表：1～2名

テーマ「地区福まちにおけるコーディネートの実践について」

《区別研修会の開催》

	日時・場所	講義（講師：大学教授等）	実践発表（福まち活動者）	参加人数
中央区	12/17(月) 札幌ビューホテル 大通公園	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・札幌学院大学 中田准教授		161
北区	11/19(月) 区民センター ホール	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・北星学園大学 畑准教授		65
東区	10/28(日) 区民センター ホール	助け合いのネットワーク強化に向けて ・北星学園大学 畑准教授	地域の組織間や地域の社会資源との連携にかかわる実践発表 ・北栄地区 新道東町内会 井上 会長	163
白石区	12/13(木) 区民センター ホール	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・札幌学院大学 中田准教授	地区福まちにおけるコーディネートの実践について ・白石地区福まち 栗山 運営委員長 ・白石地区白石中央第一町内会 竹井 副会長	193
厚別区	12/19(水) 区民センター ホール	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・札幌学院大学 中田准教授		107
豊平区	11/22(木) プレミアホテルT SUB AKI札幌	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・北星学園大学 畑准教授	地区福まちにおけるコーディネートの実践について ・厚別区厚別中央地区福まち 木谷 センター長	167
清田区	10/11(木) 清田消防署 講堂	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・北星学園大学 畑准教授		38
南区	12/11(火) 区民センター ホール	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・北星学園大学 畑准教授	地区福まちにおけるコーディネートの実践について ・白石区北白石地区福まち 小池 副運営委員長 ・厚別区厚別中央地区福まち 木谷 センター長	187
西区	11/5(月) ホテルヤマチ	地域で生ききる～生きづらさを抱える人々に寄り添う地域社会を目指して～ ・札幌学院大学 中田准教授		280
手稲区	12/6(木) 区民センター ホール	地区福まちにおけるコーディネート機能の強化について ・北星学園大学 畑准教授	地区福まちにおけるコーディネートの実践について ・前田地区福まち 手藏森 事務局長 ・前田地区前田ゆたか町内会 野瀬 福祉部長	117
10区合計				1,478

イ 地区福まちコーディネート機能強化にかかわる全体研修会の開催

《開催日時・場所》 平成 31 年 2 月 28 日・白石区民センター

《参加対象・定員》

対 象：区別研修会を受講された各種調整業務にかかわる実務者（地域住民や福祉の専門機関・団体・施設等からの情報提供や相談を受ける立場にある方、または、今後受ける予定にある方（地区福まち事務局長・事務局員・部会員・相談員等：1 地区 2 名程度）

参加者：118 名

《開催内容：講義・事例検討》

講 義：

テーマ「困りごとを抱えた住民への具体的な支援と事例検討の意義

～同じ地域に住む私たちだからこそその支え～

愛知教育大学(教育支援専門職課程福祉コース)

教授 川島 ゆり子 氏

事例検討：グループ協議

ウ 福まち活動調整員養成講座カリキュラム等の検討

⑥福まちパワーアップ事業の拡充支援

〔内 容〕地区福まちにおける日常的な見守り活動等の拡大を図る取組として、ワークショップと単町訪問を相互に組み合わせた支援活動を展開している。CSW業務とも連動させながら、昨年度に引き続き13地区をモデル指定して取り組みを展開する。

〔モデル地区指定数〕

29年度から全区で実施：1年度に全市で13地区を指定のうえ実施

指定地区数：大規模区（中央区・北区・南区）⇒2地区指定

中・小規模区（その他の7区）⇒1地区指定

〔モデル地区：ワークショップの開催及び単町訪問の実施〕

	30年度モデル地区		
	地区名	ワークショップ開催	単町訪問
中央区	山鼻地区 幌西地区	・1回目 11/6 ・2回目 11/30 ・1回目 11/30 ・2回目 2/15	24単町中 3単町 17単町中 単町
北区	北地区 屯田地区	・1回目 10/9 ・2回目 3/27 ・1回目 8/25 ・2回目 3/2	26単町中 12単町 55単町中 40単町
東区	丘珠地区	・1回目 7/26 ・2回目 11/29	17単町中 5単町
白石区	東白石地区	・1回目 7/30 ・2回目 11/12	17単町中 6単町
厚別区	青葉地区	・1回目 12/12 ・2回目 1/22	12単町中 7単町
豊平区	中の島地区	・1回目 10/31 ・2回目 2/21	10単町中 1単町
清田区	里塚美しが丘地区	・1回目 10/29 ・2回目 2/16	26単町中 4単町
南区	藻岩下地区 芸術の森地区	・1回目 7/23 ・2回目 3/11 ・1回目 7/31 ・2回目 2/27	10単町中 2単町 13単町中 7単町
西区	八軒地区	・1回目 9/26 ・2回目 3/2	40単町中 2単町

手稲区	新発寒地区	・1回目 8/28	・2回目 11/29	14単町中14単町
合計	13地区	28回開催		281単町中103単町

⑦地区福祉のまち推進センター拠点活性化事業の支援

〔内 容〕地区福まちコーディネート機能強化事業とも連動し、地区福まちの活動拠点の活性化を目的に、相談窓口や目安箱の設置などを区社協が支援することで、地区福まちが「住民の困りごとを把握し、解決の道筋を考え・ノウハウとして蓄積していく仕組みづくり」を進める。

〔支援地区〕地区福まちの状況に応じて、区社協が拠点PRのためのチラシ作成や、専門機関と連携した相談活動の実施、相談対応にかかわるマニュアル作成といった支援活動を随時展開。

⑧地域見守りネットワーク推進会議の開催

ア 札幌市地域見守りネットワーク推進会議の開催

〔内 容〕地域（地区福まち）と各種民間事業者等が連携した重層的な見守りの仕組みづくりに向けて、地域見守りネットワーク推進会議を開催し、体制整備の取り組みを進める。

第1回 日時等：平成30年6月13日 14:00～16:00 医師会館

参加者：30名（ネットワーク会議委員・区社協等）

内 容：新規見守り協定締結事業者の活動紹介

：事業者等による見守り事業実績報告（前年度実績）

：区地域見守りネットワーク推進会議の開催について

：今後の地域見守りネットワーク推進会議の展開について

：情報・意見交換（各委員からの活動報告や情報提供）

：その他（市・区社協からの情報提供）

第2回 日時等：平成30年11月22日 14:00～16:30

参加者：25名（ネットワーク会議委員・区社協等）

内 容：各区地域見守りネットワーク推進会議の開催報告について

：地区福まちと民間企業による活動交換会の開催報告について

：見守り・訪問活動啓発用ポスターの掲示実績について

：情報・意見交換

① 企業による見守り活動PRチラシの作成について

② 震災発生時の各企業・団体の対応について

③ 企業・団体からの情報提供

：その他（市・区社協からの情報提供）

イ 各区における地域見守りネットワーク推進会議の開催支援

〔内 容〕地域と各種民間事業者等が連携した見守り体制の整備を推進するため、平成30年度より各区域においても区地域見守りネットワーク推進会議を年1回開催する。

	日時・場所	出席者
中央区	2/7 福山南3条ビル	各地区福まち、包括C、区役所、中央・南・西警察署、中央消防署、郵便局、道新(中央南販売所)

北区	3/22 北区役所 会議室	各地区社協・福まち、相談支援事業所、北警察署、北消防署、道新(松本新聞店)、コープさっぽろ、
東区	7/11 区民センター ホール	各地区社協会長・地区民児協会長、地区福まち関係者、東警察署
白石区	8/28 区保健センター 講堂	各地区福まち、包括C、予防C、相談支援事業所、区役所、白石警察署、白石消防署、コープさっぽろ、道新(酒井販売所)、明治安田生命
厚別区	9/20 アークシティホテル	各地区福まち、区役所、厚別警察署、厚別消防署、コープさっぽろ、道新(熊販売所)
豊平区	7/20 区民センター ホール	各地区福まち、区役所、豊平消防署、道新(元村販売所)
清田区	8/29 清田区役所 会議室	区福まち代表、区民児協会長、包括C、相談支援事業所、区役所、豊平警察署、清田消防署、道新(千田販売所)、セブン-イレブン
南区	3/5 真駒内総合福祉センター	地区福まち・地区民児協(各1地区)、包括C、予防C、相談支援事業所、区役所、コープさっぽろ、ヤクルト、エンパイアー、道新(岸販売所)、佐川急便、生活クラブ、郵便局、明治安田生命
西区	3/4 ホテルヤマチ	各地区福まち、区役所、コープさっぽろ、エンパイアー、郵便局
手稲区	11/29 区民センター 会議室	各地区福まち、区民児協会長、包括C、区役所、警察署、消防署、マンション管理組合、コープさっぽろ、ヤクルト、エンパイアー、セブン-イレブン、道新(倉本販売所)、郵便局、明治安田生命

ウ 地区圏域における見守りネットワークの構築に向けた各種取組の支援
〔内容〕 地域と各種民間事業者等が連携した見守り体制の整備を推進するため、地域からの要望に応じて地区圏域で研修会等を開催する。

	日時・場所	出席者
南区 南沢地区	6/28 南沢福祉会館	地区福まち関係者、道新(岸販売所)、コープさっぽろ、ヤクルト、エンパイアー、セブン-イレブン
	3/13 南沢福祉会館	地区福まち関係者、サロン参加者、ヤクルト
厚別区 もみじ台地区	11/15 もみじ台管理センター	地区福まち関係者、道新(大久保販売所)
白石区 白石地区	3/7 白石会館	地区福まち関係者、コープさっぽろ、ヤクルト、道新(大塚販売所)、郵便局

⑨福まち活動の推進にかかわる手引書・事例集等の作成

〔内 容〕 福まち活動において喫緊の課題である「担い手不足」に焦点をあて、福まち活動に関わることの魅力、また活動者自身にもたらす効果を伝え、活動者の増員につながるような手引きを作成する。

〔印刷物名〕 福まち活動の手引き～なかまを増やそう！編～

〔発行部数〕 11,000部

⑩社協ホームページにおける地区福まち情報の充実

- ・各区社協にてホームページ「福祉のまち推進センターニュース」を随時更新
- ・福まち基本情報シート〔全地区分HPで公開〕

⑪報道機関などを活用した積極的な周知活動の展開

テレビ・ラジオ・新聞等を活用し、福まち活動の紹介等を随時実施する。

⑫コミュニティソーシャルワーク機能の強化

〔内 容〕 平成26年度にプロジェクト会議を設置し作成した「地区福まちの未来像と区・市社協の役割」に基づく取組として、昨年度に引き続き、コミュニティソーシャルワーク（CSW）機能の強化を以下のとおり進める。

ア 地区福まち情報の収集・記録・整備にかかわる支援

社協活動の見える化に向けて、区社協の地区福まち支援に係る各種記録等の作成・整備を進め、全市的に支援ノウハウの蓄積と共有化を図る。

- ・地域支援業務にかかわる記録票：全地区対象
 - 地域支援援助記録票〔会議・打合せ・研修・行事用〕 → 通年作成
 - 地域支援援助記録票〔個別相談用〕 → 通年作成
 - 地区社協組織図・福まち構成図 → 随時更新
 - 福まち基本情報シート → 〔全区4～7月更新〕
 - モデル地区にかかわる記録票：継続・拡大
 - 27年度モデル地区：各区社協 → 1地区
 - 28年度モデル地区：各区社協 → 2地区
 - 29年度モデル地区：各区社協 → 2地区
 - 30年度モデル地区：各区社協 → 2地区 合計〔7地区〕
- （モデル地区において作成・更新する書類〔課題分析票、支援計画票、支援実施票、町内会・自治会基礎データ〕）

《モデル地区の指定状況》

	H27：1地区	H28：2地区	H29：2地区	H30：2地区	合計
中央区	宮の森大倉山	桑園・南円山	山鼻・幌西	東・苗穂	7地区
北区	新川	新琴似西・太平百合が原	鉄西・麻生	北・屯田	7地区
東区	栄西	元町・苗穂東	栄東・北栄	丘珠・伏古本町	7地区
白石区	北東白石・白石東	菊の里	菊水・北白石	白石・東白石・東札幌	8地区
厚別区	厚別西	青葉・もみじ台	厚別東・厚別中央	厚別南	6地区
豊平区	東月寒	豊平・月寒・福住	美園	中の島・西岡	7地区
清田区	平岡	北野・清田	清田中央・里塚・美しが丘	※全地区指定済	5地区
南区	藤野	芸術の森・簾舞	南沢・藻岩下	石山・澄川	7地区

西 区	西町	発寒北・発寒	琴似二十四軒・山の手	八軒・西野	7 地区
手稲区	富丘西宮の沢	手稲鉄北・前田	稲穂金山・星置	手稲中央・新発寒	7 地区

・個別支援業務にかかわる記録票：全地区対象

個別支援対応票・個別支援援助記録票 → 通年作成

個別支援検討会議報告書 → 通年作成

以上の各種記録票等については、各区社協で作成更新のうえ整備し、随時区社協内での情報共有や地区支援の検討・合意形成に活用するとともに、必要な内容・情報は、地区福まちの活動者とも共有し、地区福まちに対する支援活動のレベルアップへとつなげる。

イ コミュニティソーシャルワークスキルアップ事業の実施（会議・訪問・研修）

〔内 容〕平成26年度にプロジェクト会議を設置し作成した「地区福まちの未来像と区・市社協の役割」に基づく取組として、昨年度に引き続き、コミュニティソーシャルワーク（CSW）機能の強化を以下のとおり具体的に進める。

〔具体的な取組〕

○CSWにかかわる知識・技術の習得

・新人職員等に対する「地区福まちの未来像と区社協及び市社協の役割」に関する説明の実施（4/18 4名参加）

・市・区社協職員向けCSW機能強化研修会の開催（2/27 24名参加）

・道内外CSW研修への職員派遣

（全国CSW実践者養成研修への職員派遣：7月・2月に各1名派遣）

（地域福祉コーディネーター研修会への職員派遣：9月に2名派遣）

（道社協CSW養成研修への職員派遣：10月に3名派遣）

○各種支援情報の共有化（各種業務担当者会議の開催）

・福まち業務担当者会議：年4回開催（市社協会議室）

（第1回：6/7、第2回：8/7、第3回：10/11、第4回：1/16）

・サロン業務担当者会議：年2回開催（市社協会議室）

（第1回：6/26、第2回：2/5）

・福祉除雪業務担当者会議：年2回開催（市社協会議室）

（第1回：4/25、第2回：7/11）

⑬地域包括支援センター及び介護予防センターとの連携強化

地域包括ケアシステムの構築を図る仕組みの1つである地域ケア会議の取組は、市・区社協の業務に関わる部分が深いことから、平成27年度に社協としての地域ケア会議への関わり方を再整理し「職員向けマニュアル」を作成した。

引き続き、本マニュアルに基づき、地域包括支援センター及び介護予防センターとの連携強化を進める。

(3) ふれあい・いきいきサロン事業の拡充

ふれあい・いきいきサロン事業の拡充《1 (2)》



高齢者、障がい者、子育て親子など、住民が定期的に集い交友関係を築いていく場づくりとして、引き続きサロン活動の拡充を図り、孤立死や悪質商法の防止・早期発見を図りながら、ゴミ出しや除雪など、地域での日常生活支援を拡げていく基盤整備を図ります。

①サロンの登録及び助成

〔内 容〕 高齢者や障がい者、子育て親子が集い交友関係を築くための場づくりとして、引き続きサロン活動の拡充を図り、孤立死や悪質商法の防止・早期発見、更には、ゴミ出しや買い物などの軽易な生活支援を拡げていく地域での基盤づくりを進める。

〔新規登録サロン〕 40サロン (内訳：高齢36・複合4)

〔活動中サロン〕 713サロン

(内訳：高齢529・子育て119・障がい1・複合64)

《ふれあい・いきいきサロン登録・助成》

(単位：団体)

分類	種類	平成30年度	平成29年度
登録総数		713 (活動休止・中止 除く)	704 (活動休止・中止 除く)
種別登録数	高齢者	529	517
	子育て	119	121
	障がい者	1	2
	複合型	64	64
新規登録数		40	55

②サロン活動情報（活動メニュー・協力ボランティア・開催場所の開拓等）の収集と提供

本会広報紙（やさしい街）でのサロン紹介にあわせ、新規開設サロンやサロンに役立つ活動プログラム等の情報を収集し、本会ホームページや区別サロン一覧表等にて随時紹介。

③サロン活動にかかわる統計資料の作成

登録サロンの実施状況の傾向を把握し、それを活用・分析することによって今後のサロン事業の充実を図るため、各区統一様式に登録サロンデータを入力した統計資料を作成する。

(4) 福祉除雪事業の充実

福祉除雪事業の充実《1 (3)》

福祉除雪事業の円滑な制度運営を図るため、地域協力員のさらなる確保に向けた働きかけを、様々な年代の市民、様々な市内の組織（地域組織・企業等）に対し進めます。



また、将来に向けて安定した制度運営が図れるよう、市民と地域協力員双方のニーズを踏まえ、継続して、現行制度の見直しを行政に働きかけるとともに、地域協力員が活動しやすい環境づくりに努めます。

《実施状況》

実施状況	平成 30 年度	平成 29 年度
申込数 (冬季支援事業分)	5,547 世帯 (9 世帯含む)	5,564 世帯 (9 世帯含む)
該当世帯数 (冬季支援事業分)	5,300 世帯 (9 世帯含む)	5,321 世帯 (9 世帯含む)
非該当世帯数	40 世帯	53 世帯
辞退世帯	207 世帯	162 世帯
該当要件調査中	0 世帯	—

地域協力員	年度	人数	対応世帯数	割
地域組織 (近隣協力員)	30	2,031 人	3,595 世帯	67.3%
	29	2,040 人	3,577 世帯	66.3%
NPO	30	7 団体	46 世帯	0.9%
	29	8 団体	62 世帯	1.1%
福祉施設	30	9 団体	41 世帯	0.8%
	29	9 団体	54 世帯	1.0%
学校	30	4 校	15 世帯	0.3%
	29	4 校	21 世帯	0.4%
地域企業	30	80 社	1,165 世帯	21.8%
	29	75 社	1,165 世帯	21.6%
防災協加盟業者	30	87 社	477 世帯	8.9%
	29	91 社	520 世帯	9.6%

※途中で区分が異なる協力員に変更となった場合は（地域組織と企業等）、対応世帯数は重複計上される。

①地域協力員確保に向けた取組の継続・強化

ア 企業・団体・学校等への協力依頼の拡大

〔市社協〕自衛隊 隊友会への協力依頼（継続）

〔各区社協〕区の特長や状況等を踏まえ、区社協ごとに様々な場面・機会を活用して福祉除雪地域協力員の募集を働きかける。（区連町協連絡協議会、区災害防止協力会、区自立支援協議会、区土木センタ

一、中学校等)

イ 除雪ボランティア説明会の実施

〔内 容〕引き続き福祉除雪地域協力員を中心に除雪ボランティア活動
への一層の市民理解と協力を求めるための説明会を開催する。

〔開催日・場所〕 各会場

ウ 情報媒体の活用による地域協力員の発掘

市・区社協が一体となり、ラジオ・新聞・広報さっぽろ・本会広報誌や
ホームページ・PRチラシの町内回覧など、様々な広報媒体を活用し、幅
広い世代が身近な地域福祉活動に参加できる取り組みとして、地域協力員
の募集を積極的に実施する。

平成31年2月5日放送のHBCテレビ「今日ドキッ!」で取組紹介

②企業、団体等による除雪ボランティア活動の推進

〔内 容〕自力除雪が困難な高齢者・障がい者世帯等を対象に、福祉除雪
では活動外となる場所（窓・灯油タンク・ガスボンベ周辺等）を
中心とした単発の除雪支援を、企業・団体（労働組合・ボランテ
ィア団体）の協力を得て実施する。

○実施日：平成31年2月2日、2月3日、2月10日、2月16日

○協力企業・団体数、活動者数：13企業・団体、307名

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・札幌地区連合青年委員会 | ・(株)東芝北海道支社 |
| ・北海電気工事労働組合 | ・札幌防犯健全協力会 |
| ・ほくでんユニオン本部 | ・(株)日立国際電気 |
| ・KDDI(株) | ・サントリー労働組合 |
| ・アサヒビール(株) | ・イオン北海道労働組合 |
| ・(株)オープンループパートナーズ | ・(株)モロオ |
| ・カルビー(株) | |

○実施世帯数：45世帯

③事業内容を検証するためのアンケート調査の実施

〔内 容〕今後の事業内容を検証する参考とするため、事業年度終了後
に利用世帯・地域協力員（個人・団体）を対象に、送付先を無
作為抽出のうえアンケート調査を実施する。

- | | |
|------------------|--------------|
| ①利用世帯 | 500世帯（前年度同数） |
| ②地域協力員／個人用（地域組織） | 500人（前年度同数） |
| ③地域協力員／団体用（企業等） | 全て（前年度同様） |

〔2〕 ボランティア活動の振興・普及

ボランティア活動の振興・普及の強化《2（1）》

多様化する福祉ニーズと高まるボランティア活動への期待に応えるため、ボランティア活動の普及・啓発、コーディネート、人材発掘・育成、情報提供等札幌市におけるボランティア・地域福祉活動の振興に努めます。



また、多くの知識や経験を有するシニア世代が「生涯現役」として活躍できるよう支援・促進するほか、ボランティアや地域貢献活動、社会的包摂、地域共生社会への理解と関心を深めるため、学校や地域・企業・官公庁等に対して研修や講座の開催などを学ぶ機会の提供・支援を行います。

（1） ボランティア活動センターの運営

① ボランティア相談・登録・コーディネートの実施

〔ボランティア登録状況〕

〔単位：名〕

団体登録人数	団体数	個人登録人数	合 計
37,266	617	1,575	38,841

上段：今年度 下段：前年度末実績

〔ボランティア相談・需給調整〕

〔単位：件〕

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	
福祉情報提供	4,828	4,718	
寄附相談（物品等）	312	297	
V活動希望相談	187	130	
V要請相談	91	117	
紹介成立	59	51	
	他機関・他制度紹介	13	44
	紹介未成立	19	22
合 計	5,418	5,262	

② ボランティア活動拠点の運営

〔単位：団体・名〕

	利用団体数	利用者数
研修室A	530	6,799
研修室B	301	3,121
活動室	386	2,100
印刷室	284	976
合計	1,217 (1,634)	12,020 (13,025)

※（ ）内、前年度実績

《ボランティア活動機材の貸出件数》

区 分	保有数	平成 30 年度	平成 29 年度
車いす	16 台	49	69
疑似体験セット	16 セット	51	37
アイマスク	124 枚	17	23
白杖	32 本	14	19
スクリーン	1 張	0	1
プロジェクター	-	-	6
CDラジオカセット	1 台	45	55
点字器	48 台	12	26
合 計		188	236

③ボランティア活動保険等の加入取扱いと促進

〔加入状況〕

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
ボランティア活動保険（名）	37,758	35,950
ボランティア行事用保険（名）	96,693	99,868
送迎サービス補償制度（台）	16	18
福祉事業者総合補償保険（件）	傷害 16 賠償 35	傷害 15 賠償 35

・ボランティア活動保険特例措置

ア 大阪北部地震

特例期間：平成 30 年 6 月 18 日 10 時 00 分より 3 か月間

イ 西日本豪雨

特例期間：平成 30 年 7 月 9 日 9 時 57 分より 3 か月間

ウ 台風 21 号による大雨被害

特例期間：平成 30 年 9 月 6 日 10 時 55 分より 3 か月間

エ 北海道胆振東部地震

特例期間：平成 30 年 9 月 6 日 11 時 30 分より 3 か月間

④ボランティア活動情報の提供

- ・ボランティア活動センターのボランティア募集掲示板の活用
- ・札幌ボラニュースの発行〔毎月 1,400 部〕
※希望者にはEメール添付送信。ホームページにも掲載
- ・市社協ホームページでのボランティア募集・団体活動紹介
- ・市社協広報誌「やさしい街」及び区社協広報誌への掲載
- ・区社協ボランティア通信への掲載
- ・札幌市ボランティア連絡協議会・区ボランティア連絡会広報誌への掲載
- ・広報さっぽろへの掲載（認知症サポーター、介護サポーター）
- ・市政情報媒体（地デジ・アプリ、イベント情報冊子）への掲載
- ・北海道新聞「善意ボランティア」の欄・各種新聞社・ミニコミ紙等への掲載
- ・研修予定一覧の発行〔発行部数〕4,500部（4,000部）
- ・研修月刊チラシの発行〔発行部数〕5,000部/月（5,000部）

⑤各種ボランティア研修事業の実施

研修形式	平成 30 年度		平成 29 年度	
	研修数	受講者数	研修数	受講者数
集合型	159 研修	3,697 名	184 研修	4,729 名
出張型	12 テーマ 214 研修	10,503 名	11 テーマ 197 研修	9,728 名
計	373 研修	14,200 名	381 研修	14,457 名

※地震による中止

集合型 10 研修 出張型 5 研修

[内 訳]

○福祉啓発研修

1 日福祉セミナー、認知症サポーター養成講座、成年後見セミナー、障がい当事者スピーチマラソン、生涯現役セミナー、介護保険制度を学ぶ講座

○ボランティア研修

はじめてのボランティア講座、「ふくし」体験講座、シニア世代のためのボランティア研修、札幌ときめき大学、傾聴ボランティア研修、絵本の読み聞かせボランティア研修、朗読ボランティア研修、手話研修、障がいを理解するための研修、ガイドヘルプ研修、芸能ボランティア研修、託児ボランティア研修、災害ボランティア研修、NPO 基礎研修

○地域福祉研修

社会的孤立を考える研修、地域見守りサポーター養成講座、これからの助け合い活動の仕組みを学ぶ研修、「個人情報保護法」を理解するための研修、災害時のための地域支え合い講座、ふれあい・いきいきサロン研修、地域の事例から学ぶ研修、地区福まち活動者研修、民生委員・児童委員テーマ別研修

○各種登録活動者研修

介護サポーター研修、障がい者講師スキルアップ講座、「日常生活自立支援事業」生活支援員研修、「地域支え合い有償ボランティア事業」研修、「さっぽろ子育てサポートセンター」研修

○介護力向上研修

介護集中講座、福祉のお仕事復職サポートセミナー、介護職員初任者研修

○福祉事業従事者研修

福祉施設職員ニューパワー全体セミナー、救急法セミナー、施設レクリエーションを見直す研修、福祉施設などにおけるボランティア受入担当者研修、福祉施設等における社会貢献を考える研修、福祉・医療・保健関係者のための成年後見セミナー

○出張型

地域見守りサポーター養成講座、災害時のための地域支え合い研修、個人情報保護法を理解しよう！、どんな場面にも役立つ！傾聴・コミュニケーション力、みんなで楽しく若返り！音読脳トレ、始めて

みよう！ボランティア活動、日常生活自立支援事業、障がい当事者のお話を聴こう！、みんなの介護教室、その他

○在宅ボランティア養成研修会

区	開催日時	受講者数
中央区	6月28日	6人
北区	3月15日、18日、19日	24人
東区	8月6～7日	11人
白石区	7月31日	21人
厚別区	①8月27～28日	26人
	②10月29～30日	17人
豊平区	8月29～30日	24人
清田区	11月2日	26人
南区	2月20日	44人
西区	8月28日、9月3日	13人
手稲区	7月5～6日	15人

○みんなの介護（出前）教室

一般市民を対象に在宅介護に関する知識や技術の習得を目的とした研修会を開催し、在宅介護を行っている家族、介護に関心のある子どもから高齢者を対象に在宅介護の普及啓発のための介護教室を実施した。

[単位：回・名]

区	平成30年度		平成29年度	
	回数	参加人数	回数	参加人数
中央区	2	20	5	56
北区	0	0	0	0
東区	0	0	0	0
白石区	0	0	5	143
厚別区	0	0	2	80
豊平区	0	0	0	0
清田区	1	24	1	20
南区	3	85	1	49
西区	2	62	0	0
手稲区	1	25	1	17
計	9	216	15	365

札幌ときめき大学の開校《2（2）》

ボランティア活動を継続していくために必要な知識や技術を学び、卒業後にはボランティア活動やボランティア・リーダーとして活躍する人材を養成する「札幌ときめき大学」を開校します。また、各期卒業生が一堂に会し、継続的な学習の機会と情報交換、今後の活動の向上を図る「札幌ときめき大学合同研修会」を開催します。



○札幌ときめき大学

〔日 時〕 4月13日～11月8日（取得50単位）

〔応募者〕 22名 〔合格者〕 22名 〔修了者〕 15名

⑥ボランティア体験事業の実施

	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	
体験施設	48	77	68	63	66	
・団体数	50	94	50	47	59	
体験	122	212	220	153	211	
メニュー数	119	194	160	112	191	
	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	
体験施設	86	59	55	53	74	649
・団体数	60	50	50	45	63	568
体験	264	125	150	199	206	1,862
メニュー数	163	117	137	169	179	1,541

※上段は、今年度（12月末現在）、下段は前年度末実績

⑦ボランティア活動手引書の作成

〔内 容〕 ホップ・ステップ・ボランティア

〔発行数〕 3,600部

〔配付先〕 ボランティア活動希望者、研修受講者等

⑧ボランティア活動センター運営委員会の開催

第1回

〔日 時〕 平成30年5月23日

〔場 所〕 ボランティア活動センター研修室A

〔議 題〕 委員長、副委員長の選任について

平成29年度ボランティア活動センター事業報告について

第2回

〔日 時〕 平成30年12月19日

〔場 所〕 ボランティア活動センター研修室A

〔議 題〕 平成31年度研修体系（案）について

胆振東部地震におけるボランティア活動センターの対応について

札幌市介護サポートポイント事業受入施設の拡大について

平成30年度重点事業の進捗について

第3回

〔日 時〕 平成31年3月12日

〔場 所〕 ボランティア活動センター研修室A

〔議 題〕 平成31年度事業計画（案）について

（2）福祉教育の推進

①社会福祉協力校の指定促進と支援

＜社会福祉協力校の指定促進と支援＞

指定協力校の数（平成30年度までの実績）

〔単位：校〕

種別	小学校	中学校	高等学校	合計
当年度新規校	0	0	0	0
指定2年目	0	1（真駒内）	0	1

指定3年目	0	1（屯田中央）	1（北海札幌）	2
指定終了校	209	93	45	347
合計	209	95	46	350
市内学校数	204	106	53	363
指定率	100.0%	89.6%	86.8%	96.4%

再指定校の数（平成21年度からの実績）

〔単位：校〕

種別	小学校	中学校	高等学校	合計
当年度新規校	1（手稲山口）	0	0	1
指定2年目	3（平岸高台、手稲中央、新陵東）	1（上野幌）	0	4
指定3年目	3（光陽、月寒、発寒東）	0	0	3
指定終了校	12	4	1	17
合計	19	5	1	25

②福祉教育関連本の作成・配布

a 「ふくし読本」地域でともに生きる～みんなのやさしさ～（小学校高学年向け）

〔内容〕「ふくし」ってなんだろう／地域を知る／ともに生きる／福祉のまちづくり／わたしたちにできること／じぶんにできることはなんだろう

〔部数〕16,300部

〔配布先〕市立小学校5年生全児童

b 地域・学校・社協ですすめる「福祉教育（ふくし学習）ハンドブック」（教員向け）

〔内容〕学校と共有したい基本的視点／「ふくし読本」を使った授業展開／福祉教育のポイント

〔部数〕2,100部（予定）

〔配布先〕市立小学校5・6年生全学級

③技術・家庭科夏季研修会への協力（札幌市教育研究推進事業）

〔日時〕平成30年8月9日 9:30～12:00

〔場所〕ちえりあ5階音楽研修室

〔参加者〕13名（市立中学家庭科教諭）

〔内容〕高齢者理解（ボランティア活動係長講話）
体験学習（本会介護福祉士）
地域との協働の理解（西区社協次長講話）
質疑応答

〔内容〕研修会企画助言・支援、職員講師対応

④全道福祉の学習推進セミナーの開催（道社協と共催）

〔日時〕平成31年1月10日

〔場所〕かでの2・7 8階820研修室

〔内容〕実践発表、分科会、全体会

〔参加者〕42名

(3) 障がい福祉連携事業の推進

①障がい者講師等養成・派遣事業の実施

障がい者講師等養成・派遣事業の実施《9(1)》

障がいのある方を講師として養成し、学校や企業、町内会等に派遣することで、障がいに対する市民理解が深まるとともに障がい者の社会参加がより促進され、ノーマライゼーションの理念が実現した社会を目指します。



また、当該事業を広く障がいに対する市民理解を深めることを目的とした、「障がい当事者スピーチマラソン」を開催するほか、登録講師自身のレベルアップと当該事業の目的の再確認を図ることを目的にフォローアップ研修を開催します

・障がい者講師の派遣

〔登録数〕 93名

〔派遣先〕 市内小・中・高等学校・企業・福まちなど

〔単位：回・名〕

	平成30年度	平成29年度
回数	124	116
聴講者	8,067	7,176

※地震による派遣中止 2件

・障がい者講師スキルアップ講座の開催

第1回 スキルアップ講座

〔日時〕 平成30年5月30日 10:00～12:00

〔場所〕 札幌市社会福祉総合センター 3階 会議室

〔内容〕 思いを伝える話し方講座

〔講師〕 特定非営利活動法人 北海道総合福祉研究センター
事務局長 池田 ひろみ 氏

〔参加者〕 障がい当事者講師 17名

第2回 スキルアップ講座

〔日時〕 平成30年11月6日 14:00～15:30

〔場所〕 エルプラザ4階 中研修室

〔内容〕 当事者講師派遣を利用する立場から
(企業として講師に望むこと)

〔講師〕 札幌駅総合開発株式会社
サービス推進部 SE推進チーム
担当部長 野副 健二 氏
サブリーダー 吉田 真弓 氏

〔参加者〕 障がい当事者講師 21名

・障がい当事者スピーチマラソンの開催

〔日時〕 平成30年6月23日

〔場所〕 かでの2・7 4階 大会議室

〔内容〕 当事者だからこそ感じている思いを伝えます。

〔形式・講師〕スピーカー10名によるリレーマラソン形式

〔参加者〕200名（聴講者：132名、運営スタッフ等：68名）

②障がい者のスポーツ・遊び体験事業の実施

障がい者のスポーツ・遊び体験事業《9（2）》

障がい者（児）に屋外スポーツやレクリエーション活動を通して自然に触れる喜びや楽しさを体感しながら、「遊び」から日々の生活を豊かにしてもらい、施設や事業所の仲間同士の交流を深めてもらうことを目的として、札幌ばんけいスキー場で夏はパークゴルフ、冬はそり滑りの体験事業を実施します。



〔主催〕株太陽グループ、札幌市知的障がい福祉協会、市社協

〔協力〕付添ボランティア

〔会場〕ばんけいスキー場

〔実施状況〕

	夏季	冬季
実施期間	7～10月	1～3月
実施内容	パークゴルフ、散策 等	スキー、そり、チューブすべり
実施日数	5日間	10日間
参加者数	延べ5事業所・17名	延べ12事業所・81名
付添ボランティア	0名	延7名

※地震による中止 1日

（4）介護サポートポイント事業の実施

介護サポートポイント事業《2（3）》

65歳以上の高齢者の社会参加を促し、介護予防への取り組みを広げるため、市内の高齢者福祉施設等でボランティア活動すると換算できるポイントがたまる「札幌市介護サポートポイント事業」を実施します。



介護サポーターを募集するための集合型研修をボランティア活動センターで開催するほか、市内7区及び市街地中心部で出張研修を開催するなど、高齢者の介護サポーター登録と社会参加・介護予防の機会促進に努めます。

ア 受入施設数・サポーター登録者数

〔単位：事業所・名〕

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
受入施設数	15	31	23	24	14	22	23	7	21	19	199
	12	26	22	20	14	15	19	7	14	18	167
サポーター登録数	206	230	211	139	172	164	104	195	170	159	1,753
	192	209	187	116	128	143	100	188	133	139	1,535

※上段は、今年度、下段は前年度末実績

※受入施設にはデイサービス、デイケア含む

イ 介護サポーターの登録拡大、活動支援

a 介護サポーター研修の開催（集合・出張形式）

〔単位：回・名〕

	平成 30 年度	平成 29 年度
回 数	16（主催形式 11、出張形式 5）	15
受講者	293	236

※地震による中止 1 回

b アンケート調査の実施

〔目 的〕 介護サポーターの意識や実態の把握

〔対 象〕 登録者 1,622 名

〔方 法〕 郵送による調査票の配付・回収

〔日 時〕 平成 30 年 11 月 5 日～11 月 20 日

〔回収率〕 1,065 件（65.7%）

ウ ポイント換算交付金申請受理（平成 30 年分ポイント）

〔受付期間〕 平成 31 年 1 月（50 ポイント以上の方のみ 12 月より受付）

〔申請者〕 564 名

エ 受入施設の拡大、受入環境の整備

a 新規受入施設説明会の開催 〔単位：回・事業所〕

	平成 30 年度	平成 29 年度
回 数	8（主催 4 回 個別 4 回）	8
施設数	55	17

b 受入施設事業担当者意見交換会の開催

	日 時	形式・参加者数
回 数	12 月 5 日 10:00	主催 13 事業所
施設数	12 月 7 日 13:30	主催 22 事業所

（5）市・区災害ボランティアセンターの推進

ア 円滑な設置・運営に向けた取り組み

a 札幌市災害ボランティアセンター関係機関連絡調整会議

〔日 時〕 平成 31 年 3 月 8 日

〔場 所〕 ボランティア活動センター研修室 A

〔内 容〕

- ・本会の平成 30 年北海道胆振東部地震における対応について
- ・各出席機関・団体の平成 30 年北海道胆振東部地震における対応について
- ・近年の災害からみた災害ボランティアセンターに求められること
- ・ネットワークの重要性について
- ・札幌市災害ボランティアセンターの体制充実強化に向けての意見・情報交換

〔出席数〕 9 機関 13 人

b 札幌市災害ボランティアセンター設置・運営者研修

〔日 時〕 平成 31 年 3 月 7 日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4 階視聴覚兼会議室

〔内 容〕

北海道胆振東部地震発災後の市社協の対応について

説明：札幌市社会福祉協議会ボランティア活動係員 山崎佑樹

北海道胆振東部地震発災後の道社協の対応について

説明：道社協地域福祉部地域福祉課 主査 宮川 良介 氏

近年の災害からみた災害ボランティアセンターの動向について

講師：全社協地域福祉部全国ボランティア・市民活動センター

副部長 小川 耕平 氏

〔参加者〕 17 名

c 石狩川水系豊平川総合水防演習への参加

〔日 時〕 平成 30 年 6 月 17 日

〔場 所〕 豊平川雁来大橋下流左岸

〔内 容〕 水防演習訓練（会長、地域福祉部長）

地域交流会場への体験会場開設（高齢者疑似体験）

d 第 3 回災害時の連携を考える全国フォーラム～つながりから協働へ～参加報告会への参加

〔日 時〕 平成 30 年 7 月 9 日

〔場 所〕 市民活動プラザ星園 2 階大会議室

〔主催者〕 北海道 NPO サポートセンター

〔参加者〕 ボランティア活動係長

e 平成 30 年 7 月豪雨被災地の支援はいま情報共有・意見交換会への参加

〔日 時〕 平成 30 年 9 月 18 日

〔場 所〕 市民活動プラザ星園 2 階中会議室

〔主催者〕 北海道 NPO サポートセンター

〔参加者〕 ボランティア活動係職員

f 平成 30 年度災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会への参加

〔日 時〕 平成 30 年 10 月 15、16 日

〔場 所〕 北農健保会館 大会議室

〔主催者〕 北海道社会福祉協議会、北海道災害ボランティアセンター

〔参加者〕 中央区社会福祉協議会職員、ボランティア活動係職員

g 平成 30 年度石狩地区災害ボランティア組織連携会議への参加

〔日 時〕 平成 30 年 11 月 27 日

〔場 所〕 北農健保会館 大会議室

〔主催者〕 北海道社会福祉協議会石狩地区事務所

〔参加者〕 地域福祉部長、ボランティア活動係職員

h 平成 30 年度北海道災害ボランティアセンター初期支援チーム研修会への参加

〔日 時〕 平成 30 年 12 月 3 日

〔場 所〕 かでる 2・7 520 会議室

〔主催者〕 北海道社会福祉協議会、北海道災害ボランティアセンター

〔参加者〕 ボランティア活動係職員

- i 平成 30 年度都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者連絡会議
 - 〔日 時〕平成 31 年 1 月 18 日
 - 〔場 所〕全社協第 3～5 会議室
- j 平成 30 年度災害ボランティアセンター運営者研修への参加
 - 〔日 時〕平成 31 年 1 月 22 日～24 日
 - 〔場 所〕東京ファッションタウンビル東館 9 階研修室
- イ 災害支援ボランティア活動の普及啓発
 - a 災害ボランティア研修
 - 〔日 時〕平成 30 年 4 月 20 日
 - 〔場 所〕札幌市社会福祉総合センター4 階研修室 A
 - 〔内 容〕過去の災害から学ぶ災害ボランティアに必要な知識
講師 災害ボランティアコーディネーター 吉崎 文浩 氏
 - 〔参加者〕20 名（21 名）
 - b 災害ボランティアフォローアップ研修の開催
 - 〔日 時〕平成 30 年 12 月 19 日
 - 〔場 所〕札幌市医師会館 5 階東ホール
 - 〔内 容〕大雨や洪水の気象災害について
講師 札幌管区気象台気象防災部予報課予報官
渡辺 寛幸 氏
今回の地震災害でのボランティア活動について（情報共有）
 - 〔参加者〕33 名（34 名）
 - c 「災害時地域支え合い出張研修会」の実施

〔単位：回・名〕

	平成 30 年度	平成 29 年度
回 数	26（出張 25、主催 1）	12（出張 11 主催 1）
受講者	940	421

- ウ 北海道胆振東部地震における対応（平成 30 年 9 月 6 日発生）
 - ※災害ボランティアセンター設置・運営に則しながら、通常のボランティア
 - a 初動・初期対応
 - ・職員参集〔発災直後〕
 - ・災害時優先電話の活用〔発災初日〕
 - ・日常業務の実施・継続可否判断〔発災初日、2 日目〕
 - ・区社協からの定時報告による情報収集〔発災 2 日目～10 月 16 日〕
 - ・ホームページにおける支援対応方針の公開〔発災 2 日目〕
 - ・ボランティア活動保険災害特例受付開始〔発災 2 日目〕
 - ・ボランティア活動センター特別開所
〔9 月 30 日までの全土日祝日 10 日間〕
 - ・ホームページにおけるボランティア関連特設専用タグ設定
〔発災 5 日目〕
 - ・災害ボランティア登録者への支援協力依頼にかかる情報発信
〔発災 5 日目〕

- ・災害ボランティア事前受付フォームの公開
〔発災7日目～10月31日〕
- ・ボランティア活動センターフェイスブック開設・公開〔発災8日目〕
- ・札幌市災害対策本部への支援状況の定時報告
〔発災13日目～10月15日〕
- ・関係機関との連絡調整（札幌市、道社協、全社協等）

b ボランティアによる支援状況

○相談対応状況

対応状況	件数	内訳	件数
支援件数	30件	ボランティアによる支援	19件
		実調時における職員対応	11件
受援辞退	10件	自力対応	7件
		親族対応	2件
		近隣支援	1件
他機関紹介	6件		
計	46件		

○活動状況

〔支援人数〕183人（延べ）

〔活動日数〕21日間（延べ）

〔活動内容〕大型家具の復元、食器整理、引越し支援、敷地内土砂撤去等

（6）関係団体との連携・事務局支援

①札幌市ボランティア連絡協議会に対する支援

ア 主催事業

a ボランティア講演会

〔日時〕平成30年4月24日 14:00-15:30

〔会場〕札幌市社会福祉総合センター4階「大研修室」

〔題目〕消費者被害を学ぶ～最近の事例からみた対策～

〔講師〕札幌市消費者センター 派遣講座講師 星原 智江氏

b ボランティアリーダー研修会

〔日時〕平成30年7月19日 10:00-12:00

〔会場〕札幌市社会福祉総合センター4階 研修室A

〔題目〕札幌で災害が発生した際、地元ボランティアに望むこと

〔講師〕北星学園大学社会福祉学部 教授 岡田 直人氏

c ボランティアセミナー

〔日時〕平成30年11月16日 10:00～11:30

〔会場〕札幌市社会福祉総合センター4階 研修室A

〔題目〕「失敗していませんか？コミュニケーション」

〔講師〕全国訪問ボランティアナースの会キャンパス札幌

代表 真鍋 智美氏

d 生徒・学生ボランティアとの交流・情報交換

各区ボランティア連絡会において、次世代のボランティア活動を担う中

学・高校・専門学校・大学の学生ボランティアと交流・情報交換を行い、ボランティア活動の魅力を確認めあった。

イ 参加・協力事業

- a ボランティア愛ランド北海道 2018in おたる
〔日 時〕平成 30 年 10 月 21 日
〔会 場〕小樽市民会館（小樽市）
- b ボランティア全国フォーラム軽井沢 2018
〔日 時〕平成 30 年 11 月 3 日～4 日
〔会 場〕長野県軽井沢町、佐久平市、小諸市
軽井沢大賀ホール、佐久平交流センター ほか
- c 平成 30 年度 石狩地区ボラネット・スキルアップ研修会
〔日 時〕平成 30 年 7 月 11 日
〔会 場〕新篠津村自治センター
- d 道社協主催・ボランティアリーダー学習会
〔日 時〕平成 31 年 2 月 2 日
〔会 場〕ホテル札幌ガーデンパレス

ウ 収集ボランティア活動

ペットボトルキャップ・リングプル・使用済切手および未使用鉛筆を集め、収集ボランティア活動の普及・啓発を行う。

エ 広報誌「ふれあいネットワークさっぽろ」の発行

通算 第 48 号発行（9 月・6,000 部）
第 49 号発行（3 月・6,000 部）

オ 会務の運営

- a 総 会
〔日 時〕平成 30 年 4 月 24 日 16:00-17:00
〔会 場〕札幌市社会福祉総合センター 4 階研修室
〔議 事〕平成 29 年度 事業・決算・監査報告
平成 30 年度 事業計画案・予算案審議
その他
- b 役員会・監事会
随時開催
- c 三役会
随時開催
- d 広報誌編集会議
各号 2 回開催（2 回×2 号分）

②札幌市在宅福祉活動団体連絡会に対する支援

ア 研修・交流事業

- a 研修会
○第 1 回
〔日 時〕平成 30 年 5 月 15 日
〔場 所〕札幌市社会福祉総合センター 4 階「視聴覚兼会議室」

〔内 容〕「札幌市における生活支援体制整備事業について」

講師 札幌市介護保険課

介護予防担当係長 星田 剛 氏

〔参加者〕 29人（29人）

○第2回

〔日 時〕 平成30年11月27日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階研修室A

〔テーマ〕 「灯りが消えたまちが教えてくれたこと
～支え合いの始まりは地域のつながり」

〔内 容〕 話題提供、パネルディスカッション

〔参加者〕 25人

b 第1回情報交換会

○第1回

〔日 時〕 平成30年8月21日

〔場 所〕 ボランティア活動センター研修室

〔内 容〕 失敗していませんか？コミュニケーション

講師 全国訪問ボランティアナースの会 代表 真鍋智美氏

〔参加者〕 20名

○第2回

〔日 時〕 平成31年3月19日

〔場 所〕 ボランティア活動センター研修室

〔内 容〕 あなたは、どうして在福に？あなたはなぜ、「助け合い」！

〔参加者〕 21名

イ 啓発事業

a 広報誌「手を繋ごう！なかまたち」の発行

〔発 行〕 3月（850部）

b 加入団体紹介冊子の発行

〔発効月〕 8月（160部、社協ホームページ上でも公開）

c 「エルプラまつり」への参加・出展

※胆振東部地震発生による催事中止のため参加・出展も取りやめ

ウ 調査事業

a 北海道胆振東部地震初動体制緊急アンケート

〔対 象〕 会員団体29団体（回答：14団体）

〔方 法〕 会員団体にアンケートを送付

〔設 問〕 地震発生直後から停電解消までの初動体制

利用者の安否確認の方法・手段

利用者の被害状況と解決方法

地震・停電で困ったこと、工夫したこと

地震・停電で課題や成果・教訓

エ 会務の運営

a 総 会

〔日 時〕 平成30年5月15日

〔場 所〕 札幌市社会福祉総合センター4階「視聴覚兼会議室」

〔内 容〕 平成29年度事業、決算、監査報告

平成 30 年度事業計画(案)及び予算(案)審議

[参加者] 26名(24名)

b 役員会

6回

c 会員の増強(通年)

③札幌スノーバスターズによる除雪ボランティア活動の支援

[実施世帯] 2世帯(1世帯)

[3] 権利擁護事業の推進

(1) 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業の推進《3(1)》

高齢や障がいのために、日常生活の判断に不安のある方が、地域で安心して暮らせるように、福祉サービスの利用支援、また、日常的な金銭管理や重要書類の預かり等を行いながら、関係機関と連携して、生活課題の解決を図ります。



また、認知症高齢者等の契約者に対する相談対応を適切に行うため、生活支援員の資質向上を図ります。

[単位：件]

	平成 30 年度	平成 29 年度
相談・調整件数	22,027	22,454

[単位：件]

契 約	平成 30 年度	平成 29 年度
高齢者	26	17
知的障がい	7	7
精神障がい	9	5
その他	0	0
合計	42	29

[単位：件]

解約延べ	平成 30 年度	平成 29 年度
高齢者	31	30
知的障がい	6	6
精神障がい	11	4
その他	1	1
合計	49	41

[単位：件]

		高齢者	知的障がい	精神障がい	その他	合計
現契約件数	平成 30 年度	102	61	37	6	206
	平成 29 年度	106	61	39	7	213

※上段は、今年度、下段は前年度末実績

《生活支援員登録人数》

[単位：名]

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外	合計
30年度	33	32	21	20	21	24	16	23	25	19	1	235
29年度	30	27	20	17	20	26	16	23	25	19	0	223

	件数					人数				件数
	29年度末	契約	解約	転出入(移管)	区別件数	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	契約前調整
中央区	23	7	6	-1	23	8	8	5	2	2
北区	22	4	10	+1	17	13	2	2	0	8
東区	25	2	6	+2	23	13	8	2	0	3
白石区	22	1	5	-2	16	8	6	2	0	6
厚別区	17	3	3	-1	16	8	4	3	1	0
豊平区	34	10	8	+1	37	16	9	10	2	3
清田区	5	3	2	0	6	3	3	0	0	0
南区	22	5	5	0	22	10	5	7	0	1
西区	30	3	4	0	29	16	7	5	1	1
手稲区	13	4	0	0	17	7	9	1	0	0
合計	213	42	49	0	206	102	61	37	6	24

①契約者への定期的な支援活動とモニタリングの実施

②生活支援員の養成と研修の実施

ア 啓発活動（出前講座など）

内容：日常生活自立支援事業や成年後見制度について

[単位：回・名]

	平成30年度	平成29年度
回数	7	6
参加者数	204	190

イ 生活支援員登録に向けた研修・説明会

[開催日] ①平成30年5月16日、17日

②平成30年12月3日、7日

[場 所] 社会福祉総合センター

[内 容] 日常生活自立支援事業の概要、生活支援員の活動の概要・実際（実践報告）他

[参加者／延べ人数] ①14名 ②29名

ウ 生活支援員現任者研修

[開催日] 【障がい編】平成30年9月25日

【高齢者編】平成30年10月18日

[場 所] ボランティア活動センター

[内 容] 「日常生活自立支援事業を利用した地域生活を考える」

【障がい編】札幌市立大学看護学部 准教授 守村 洋氏

【高齢者編】豊生会 地域包括ケア推進部地域推進主幹 長井 卷子氏

[参加者] 【障がい編】26名 【高齢者編】30名

エ 生活支援員登録者研修

[開催日] ①平成30年12月19日 ②平成31年1月21日

[場 所] ボランティア活動センター

[内 容] 「ピアサポーターとは～こころの回復に向けて」

北海道精神保健推進協会 こころのリカバリー総合支援センター
事業課長 中川 有氏

〔参加者〕 ① 35名 ② 29名

③権利擁護審査会の開催

権利擁護審査会 12回
〔開催日〕 毎月第3木曜日
〔場 所〕 社会福祉総合センター

④関係機関・団体との連携推進

⑤周知活動の推進

(2) 法人後見事業

・権利擁護審査会の開催

※ 権利擁護審査会（日常生活自立支援事業と併用）【再掲】 12回

〔単位：件〕

	高齢者	知的障がい	精神障がい	その他	合 計
現契約件数	3	2	2	0	7
	3	2	1	0	6


※上段は、今年度、下段は前年度末実績

〔単位：件〕

		平成 30 年度	平成 29 年度
新規受任件数		1	0
累積内訳	認知症高齢者	3	3
	知的障がい者	2	2
	精神障がい者	2	1

(3) 成年後見制度利用支援事業

成年後見に関する事業の推進《3（2）》

家庭裁判所からの審判に基づき、法人として後見人を受任し、後見業務（身上監護及び財産管理）を適切に行います。

また、判断能力が低下した認知症高齢者等に対する権利擁護を推進するために、市長による申立事務手続き等（成年後見制度利用支援事業）を札幌市から受託し、成年後見制度の利用促進を図ります。

①市長申立て事務及び報酬助成事務

○市長申立て事務

〔単位：件〕

		平成 30 年度	平成 29 年度
札幌市に進達件数		44	31
内訳	高齢者の方	28	25
	障がいのある方	16	6
申立て対応件数		57	50
申立て途中終了件数		30	15
その他対応件数		10	18
途中終了件数		25	46
合計（当該月末現在）		166	160

○後見人等報酬助成件数 [単位：件]

		平成 30 年度	平成 29 年度
助成決定件数		58	44
内 訳	高齢者	35	28
	障がい者	23	16

②成年後見制度に関する相談の実施

相談・調整件数 [単位：件]

		平成 30 年度	平成 29 年度
成年後見制度関係		170	236
市長申立関係		3,241	2,506
報酬助成関係		378	289
合 計		3,789	3,031

(4) 市民後見推進事業

市民後見推進事業の実施《3(3)》

これまで後見人に選任されてきた親族や専門職（弁護士や司法書士等）ではない第3の後見人として「市民後見人」を養成し、後見活動を見据えたフォローアップ研修も実施します。



また、市民後見人の後見活動（家庭裁判所からの審判に基づき）を支援するための体制整備が必要であり、専門職団体等と連携し協力を得ながら進めていきます。

①市民後見実施機関の設置（市民後見人の養成研修の実施等）

- 高年齢者・障がい者生活あんしん支援センター内に市民後見実施機関を設置
- ア 札幌市市民後見推進事業運営委員会 全4回
- イ 札幌市市民後見推進事業運営委員会 受任調整部会 5回

②市民後見人養成研修及びフォローアップ研修等の実施

- ・基礎研修
 - 〔開催日〕平成30年9月11日～9月26日 全5回
 - 〔場 所〕札幌市中央区民センター
 - 〔受講者〕21名
- ・実務研修
 - 〔開催日〕平成30年11月1日～平成31年1月18日 全8回（実習含む）
 - 〔場 所〕札幌市中央区民センター、市内社会福祉施設 等
 - 〔受講者〕21名
 - 〔養成研修最終修了者〕15名
- ・フォローアップ研修
 - 〔開催日〕平成30年6月14日～平成31年2月27日
 - 1～3期生合同 全4回
 - 〔場 所〕札幌市医師会館
 - 〔受講者〕1期生 27名 2期生 32名 3期生 20名

③家庭裁判所の選任に基づいて後見活動を行う市民後見人の活動支援

④成年後見制度に関わる関係機関・団体との連携

〔開催日〕平成30年8月21日

〔場所〕札幌市社会福祉総合センター

〔内容〕各機関・団体からの現況報告、意見交換

〔参加者〕札幌家庭裁判所、専門職後見人機関、学識経験者、札幌後見支援の会、札幌市

(5) 福祉サービス苦情相談事業

権利擁護を推進する各種相談事業の推進《3(4)》

高齢者や障がい者の権利擁護を推進するとともに、福祉サービス利用者が安心してサービスが受けられるよう、利用者保護の取り組みを促進します。



①福祉サービス苦情相談の実施

〈相談件数〉

〔単位：件〕

	平成30年度	平成29年度
苦情	159	151
相談	108	96
問い合わせ	28	27
その他（対応含）	237	244
合計	532	518

②福祉サービス調整委員会の開催

第1回 平成30年4月18日

第2回 平成30年10月18日

③福祉サービス苦情相談報告書の作成・周知

「平成29年度苦情取扱状況報告書」の作成（400部）

(6) 障がい者あんしん相談事業

①障がいのある方の権利擁護等に関する相談の実施

〔相談件数〕

〔単位：件〕

	身体 危害	財産	相続	金融	雇用	職場 関係	知人 関係	家族 関係	その他	合計
平成30年度	8	1	11	48	26	114	212	181	2,212	2,813
平成29年度	14	6	16	50	42	100	154	151	2,310	2,843

②法律相談の実施

〔法律相談件数〕（毎月第2水曜日実施）

〔単位：件〕

	身体 危害	財産	相続	金融	雇用	職場 関係	知人 関係	家族 関係	その他	計
平成30年度	0	1	0	6	1	1	1	0	2	12
平成29年度	1	1	5	5	2	0	2	0	0	16

○札幌市地域自立支援協議会への参画 6回

(7) 障がい者虐待相談事業

①障がいのある方の虐待に関する相談の実施

〔相談件数〕 141件（151件）

〔虐待通報〕 46件（44件）（重複項目あり）

〔単位：件〕

	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	放棄放任	経済的虐待	その他	計
平成30年度	26	70	6	7	28	4	141
平成29年度	31	76	9	11	18	6	151

②虐待防止に関する啓発研修（出前講座を含む）の実施

ア 講演会「笑顔ほっこり 心つながる 障がい理解」

～障がいがある方と関わる方の講演会～

〔開催日〕 平成30年9月30日

〔場所〕 札幌市生涯学習センター ちえりあ 6階講堂

〔内容〕

①公演 一般社団法人 札幌市手をつなぐ育成会 Team i

②講演 医療法人社団倭会 こころとそだちのクリニックむすびめ
院長 田中 康雄 氏

〔参加者〕 144名

イ 知的障がいを発信するシンポジウム「このまちに暮らす 私たちの声」

〔開催日〕 平成31年2月10日

〔場所〕 札幌エルプラザ 3階ホール

〔内容〕

①基調公演 「共に生きるために―「分けること」への抵抗とともに―」
北星学園大学社会福祉学部長 田中 耕一郎 様

②全体討論 「だれもが暮らしやすいまちを考える」
進行 社会福祉法人札幌緑花会 理事 光増 昌久 様

シンポジスト 札幌みんなの会 会員 様
相談室ぽぽ ピアサポーター 様
北星学園大学社会福祉学部長 田中 耕一郎 様

〔参加者〕 174名

ウ 障がい者虐待出前講座

〔開催回数〕 28回

〔開催場所〕 障がい者福祉サービス事業所において開催

（入所事業所3回、通所事業所20回、居宅介護事業所5回）

〔参加者〕 合計440名参加

エ 札幌市障がい者虐待防止ネットワーク会議

第一回会議 平成30年10月18日

第二回会議 平成31年 3月12日

(8) 高齢者虐待電話相談事業

高齢の方への虐待に関する電話相談の実施

〔相談件数〕 120件（102件）

〔虐待通報〕 36件（36件）

〔単位：件〕 重複有

	身体的虐待	心理的虐待	放棄放任	経済的虐待	性的虐待	計
平成30年度	17	15	9	8	0	49
平成29年度	15	17	7	1	0	40

(9) 中国帰国者生活相談室運営事業

中国帰国者等の生活相談の実施

〔相談件数〕 4,561件（4,323件）

	就労	生活	国籍	医療	教育	住宅	日本語	悩み	支援 給付	支援 計画	その他	合計
平成30年度	12	814	1	2,861	57	37	9	7	713	29	21	4,561
平成29年度	7	979	0	2,629	68	47	3	11	515	41	23	4,323

〔その他〕 中国・樺太帰国者文化祭に協力、中国帰国者新年交流会に協力

〔4〕 生活困窮者自立支援

(1) 各種資金貸付事業の推進

各種資金貸付事業の推進《4（1）》

低所得世帯などに対する各種資金貸付事業を通じて、今後の安定した生活を目指すことを基本に地域福祉の増進に繋がる事業のひとつとして取り組みます。



札幌市の依頼に基づき実施している「保育士修学資金等貸付事業」は、「就職準備金貸付」をさらに追加実施し、保育人材の確保に協力していきます。

継続して、生活困窮世帯の自立を支援するために、自立相談支援機関との連携のもと、各種資金貸付事業を推進し生活支援の充実を図ります。

また、債権管理業務においては、訪問等による償還業務に重点を置き、滞納世帯の生活状況に応じた必要な助言や関係機関へ橋渡しするなどの支援も合わせて行います。

①生活福祉資金貸付事業（不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金、臨時特例つなぎ資金を含む）

〔貸付実績〕

《生活福祉資金》

資金種別	年度	平成30年度		平成29年度	
		件数（件）	金額（千円）	件数（件）	金額（千円）
福祉資金		21	11,474	19	13,004
緊急小口資金		70	6,277	49	4,117
教育支援資金		109	194,255	91	160,563

臨時特例 つなぎ資金	0	0	0	0
総合支援資金 生活支援費	1	309	1	342
総合支援資金 住宅入居費	0	0	0	0
総合支援資金 一時生活再建費	0	0	0	0
不動産担保型 生活資金	2	350	1	94
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	9	976	9	859
平成30年度北海道胆振東 部地震特例緊急小口資金	44	5,500	-	-
平成30年度北海道胆振東 部地震特別緊急小口資金	31	7,850	-	-
合 計	276	225,665	160	178,026

※『不動産担保型生活資金』および『要保護世帯向け不動産担保型生活資金』は、月額貸付のため、合計額に計上していない。

②特別（冬期）生活資金貸付事業 [単位：件・千円]

	平成30年度	平成29年度
貸付件数	5	3
貸付金額	200	150

③札幌市保育士修学資金等貸付事業

年度 資金種別	平成30年度		平成29年度	
	件数（件）	金額（千円）	件数（件）	金額（千円）
保育士修学資金	183	118,076	210	160,254
保育補助者雇上費	2	7,563	3	16,542
未就学児をもつ保育士に 対する保育料の一部貸付	81	17,100	37	7,478
保育士就職準備金貸付	2	422	-	-
合 計	626	143,161	250	184,274

④応急援護資金貸付事業 [単位：件・千円]

	平成30年度	平成29年度
貸付件数	11	16
貸付金額	1,016	1,414

⑤要保護世帯等援護事業

公的制度の補完を図るため、札幌市からの補助金を財源に、被保護世帯あるいは要保護世帯等を対象として、一時的な援助を行なっています。

- ア 要保護世帯援護一時貸付金（生活保護開始までのつなぎ資金）
- イ 一時宿泊困窮者緊急援護資金
- ウ 一時浮浪者援護資金（浮浪者移送費）
- エ 冬季暖房器具購入資金

⑥その他

- ア 生活福祉資金貸付調査委員会の開催
毎月1回／計11回開催（定例開催）北海道胆振東部地震の影響により9月中止
- イ 無縁物故者盂蘭盆法要の実施
日時：平成30年8月20日 16:00～17:00
会場：浄土宗北縁山 新善光寺

〔5〕自主事業による在宅福祉サービス

（1）地域支え合い有償ボランティア事業

地域支え合い有償ボランティア事業《5（1）》

市民参加による相互扶助精神に基づき、高齢者の介護予防、障がい者福祉及び産前・産後支援など、在宅生活に支障がある方を対象に有償ボランティアを派遣する「地域支え合い有償ボランティア事業」を会員と協働で実施します。



①有償ボランティア（協力会員）による在宅福祉サービス （家事援助、生活援助、外出援助）の実施

《会員登録者数》 [単位：名]

協力員数	利用者数	合計
539	1,310	1,849
556	1,298	1,854

※上段は、今年度、下段は前年度末実績

《サービス実績数》 [単位：世帯・回]

区		平成30年度	平成29年度
全サービス	世帯	6,450	6,607
	回数	21,741	22,489
	時間	33,196	34,544
家事援助サービス	世帯	4,558	4,619
	回数	15,811	16,333
	時間	26,424	27,494
生活援助サービス	世帯	1,402	1,577
	回数	4,914	5,314
	時間	4,256	4,842
外出援助サービス	世帯	490	411
	回数	1,016	842
	時間	2,516	2,208

②協力会員・利用会員の募集・広報啓発活動

[単位：回・名]

区	平成 30 年度	平成 29 年度
開催回数	12	12
参加者数	130	150
新規登録者	113	119

【広報・啓発】

・協力会員の募集

定期的な登録説明会（協力会員対象）を開催して協力会員を募集し、有償ボランティアの人材確保を行った。

今年度は新たに、協力会員の少ない白石区・南区・西区に対して出張形式での登録説明会を実施した。

・利用会員の募集

事業に関するチラシ等を区役所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の関係機関に配付した。

③会報誌「ほっ・と通信」の発行

[発行回数] 年 4 回：各 2,000 部発行

④協力会員交流会の開催

・会員交流会の開催

交流会を開催し、情報交換や悩み事相談の場を設定し協力会員相互の交流を深める場を設定した。

[開催回数] 年 1 回

⑤協力会員に関する研修（登録時、スキルアップ）の開催

ア 協力会員研修（協力員スキルアップ研修）

多様化する市民ニーズに応えるため、サービス内容ごとに必要な知識及び技術の向上を目的とした研修を実施した。

[単位：回・名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
開催回数	2	5
参加者数	52	107

イ 調整員会議

職員と調整員とのサービス需給調整にかかわる情報共有や課題の検討等を目的に開催した。

[開催回数] 年 4 回

(2) さわやかヘルプサービス

さわやかヘルプサービス《5(2)》



介護保険法または障害者総合支援法では対応できないサービスを、自立支援・介護予防の観点からホームヘルパーが実施します。

	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数 (名)	1,602	1,644
回数 (回)	4,600	5,057
時間数 (時間)	5,085	5,211
収入 (円)	11,886,868	12,113,415

※利用者数は介護保険及び障害者総合支援利用者とは重複する。

〔6〕介護保険法等による在宅福祉サービス

(1) 訪問介護事業、介護予防訪問介護事業及び総合事業訪問介護相当型サービス [ヘルパーセンター]

訪問介護及び総合事業介護相当型サービス《6(1)》



要介護又は要支援認定を受けた被保険者及び、日常生活支援総合事業対象者との契約により、ホームヘルパーが訪問介護計画、介護予防訪問介護計画、日常生活支援訪問介護計画に基づいた訪問介護または介護予防訪問介護、訪問介護相当型サービスを提供します。

[事業所] 中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲
(中央、北は24時間巡回型併設)

サービス	利用者数 (人)			回数 (回)			時間数 (時間)		
	訪問介護	介護予防	総合事業	訪問介護	介護予防	総合事業	訪問介護	介護予防	総合事業
平成 30 年度	13,826	0	10,536	136,648	0	55,286	147,284	0	49,450
平成 29 年度	13,920	5,100	5,732	141,422	28,227	31,211	155,313	25,856	27,807

(2) 地域密着型サービス事業

地域密着型サービス事業《6(2)》



夜間、ホームヘルパーの定期巡回と通報による随時訪問サービスを提供する夜間対応型訪問介護と、24時間安心して在宅生活を送れるよう、ホームヘルパーや看護師の訪問サービスを1日複数回、時間帯を問わずに訪問サービスを提供する定期巡回・随時対応型訪問介護看護を実施しています。

さらに、平成30年度からは地域密着型通所介護として、地域に根ざした小規模の通所介護事業を展開します。

①夜間対応型訪問介護事業 [ナイトケアセンター]

[事業所] 中央 [単位：名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数	1,253	1,391

②定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業 [あんしん24]

[事業所] 中央、北 [単位：名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数	40	69

③地域密着型通所介護事業

[事業所] まもりんガーデン澄川 [単位：名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数	620	実績なし

(3) 居宅介護支援及び介護予防支援事業 [総合支援センターえがお、相談センター、地域包括支援センター (介護予防支援事業のみ)]

居宅介護支援及び介護予防支援事業《6 (3)》

要介護又は要支援認定を受けた被保険者との契約により、在宅生活を支援するため介護支援専門員が居宅介護支援または介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント支援を提供します。



[事業所] 総合支援センターえがお、中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲 [単位：名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数	43,668	42,497

(4) 特定入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業 [長生園]

特定入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業《6 (4)》

長生園の入所者が、心身の状態の変化等により、介護保険サービスを受ける必要が生じた場合に、自立した日常生活を送るため、施設相談員が個別の介護計画等を作成した上、必要なサービスを提供します。



[単位：名・日]

利用状況	平成 30 年度	平成 29 年度
延べ実施者数	1,341	1,558
実人員 (月毎、累計)	51	59
実施日数	342	344

(5) 通所介護事業、介護予防通所介護事業及び総合事業所相当型サービス

通所介護、介護予防通所介護及び札幌市日常生活支援総合事業《6(5)》

要介護又は要支援認定を受けた高齢者及び日常生活支援総合事業対象者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、対象者の自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。



[実施場所] 中央、東、厚別、豊平、南、西の各老人福祉センター、屯田西老人デイサービスセンター（指定管理）

[施設別利用状況]

[単位：名・日]

施設名		平成 30 年度	平成 29 年度
		延べ利用人数	5,993
中央	実利用人数	775	724
	延べ利用人数	6,311	6,185
東	実利用人数	881	920
	延べ利用人数	4,752	4,141
厚別	実利用人数	607	553
	延べ利用人数	5,705	5,957
豊平	実利用人数	886	894
	延べ利用人数	5,720	5,594
南	実利用人数	874	780
	延べ利用人数	6,309	5,817
西	実利用人数	789	735
	延べ利用人数	5,836	6,348
屯田西	実利用人数	862	871
	延べ利用人数	40,626	39,512
計	実利用人数	5,674	5,477
	1日平均利用人数	19.2	18.2
延べ実施日数		2,114	2,169

※平成 30 年 9 月 6 日～9 月 8 日及び 9 月 10 日～9 月 12 日の 6 日間は、胆振東部地震の影響により休館

(6) 医療保険法等による訪問看護、介護保険法による訪問看護及び介護予防訪問看護事業 [訪問看護ステーション]

医療保険法等による訪問看護、介護保険法による訪問看護および介護予防訪問看護事業《6(6)》

主治医の指示に基づき、利用者と契約を行い、在宅での療養生活を支援するため看護師による訪問看護並びに、理学療法士によるリハビリテーション指導を行います。



[事業所] 訪問看護ステーションあんしん [単位：名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
訪問看護	949	1, 066
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携型	25	54

(7) 障害者総合支援法による在宅福祉サービス事業 [ヘルパーセンター]

障害者総合支援法による在宅福祉サービス事業《6 (7)》

当該法律に基づく支給決定を受けた利用者との契約により、ホームヘルパーが個別支援計画に基づいて支給決定量の範囲内で居宅介護等を提供します。



[事業所] 中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲
(中央、北は24時間巡回型併設)

	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数 (名)	7, 292	7, 402
回数 (回)	89, 718	91, 817
時間数 (時間)	94, 629	100, 083

・札幌市移動支援事業 [ヘルパーセンター]

単独では外出困難な障がい者(児)が、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動や社会参加のための外出をする際に、ガイドヘルパーを派遣して、外出時に必要となる移動の介助及び外出に伴って必要となる身の回りの介護を行います。

[事業所] 中央、北、東、白石・厚別・清田、豊平、南、西、手稲

	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数 (名)	963	998
回数 (回)	4, 213	4, 623
時間数 (時間)	7, 382	7, 631

[7] 札幌市からの委託による各種保健福祉事業

(1) 札幌市高齢者生活支援型ホームヘルプサービス [ヘルパーセンター]

札幌市高齢者生活支援型ホームヘルプサービス事業《7 (1)》

介護保険の要介護認定において自立と判定された高齢者で、札幌市各区保健福祉部が在宅生活を営むうえで支援が必要と認めた高齢者に対し、ホームヘルプサービスを提供します。



	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数 (名)	12	12
回数 (回)	23	23
時間数 (時間)	43	46

(2) 札幌市養育支援員派遣事業 [ヘルパーセンター]

札幌市養育支援員派遣事業《7(2)》

児童虐待等の問題を抱える家庭において安定した児童の養育を可能とすることを目的として、当該家庭に対し、児童虐待の発生・再発の防止等を図るため、養育支援員(ヘルパー)の継続的な訪問による支援等を行います。



	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数 (名)	53	6
回数 (回)	170	24
時間数 (時間)	266	40

(3) 札幌市地域包括支援センター運営事業

札幌市地域包括支援センター運営事業《7(3)》

高齢者等が住みなれた地域で自立した生活を継続することができるよう、地域の中核機関として関係機関と連携しながら、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等が保健・医療・福祉の向上及び増進を図るため、総合相談事業、高齢者虐待の防止などの権利擁護事業、地域の介護支援専門員等への相談・支援を行います。また、平成 29 年度に介護予防・日常生活支援総合事業がスタートしたことに伴い、従前からの予防給付ケアプランのほか、事業対象者への介護予防ケアプランに基づき、高齢者を適切な事業に繋げることにより要介護状態となることを予防します。



[事業所] 中央区第 1、北区第 1、北区第 2、北区第 3、東区第 1、東区第 3、豊平区第 1、南区第 3、西区第 2

ア 地域ケア会議の開催(地域ケア会議：各地域ケア会議、準備会含)

[実績数]

[単位：件]

	平成 30 年度	平成 29 年度
中央第 1	103	64
北第 1	79	71
北第 2	86	54
北第 3	87	64
東第 1	104	94
東第 3	77	79
豊平第 1	82	69
南第 3	56	—
西第 2	51	56
合計	725	542

イ 地域包括支援センター運営事業

《総合相談支援》

[単位：件]

	平成 30 年度	平成 29 年度
介護保険制度	8,142	8,113
介護予防	133	159
その他の保健福祉サービス	277	273
権利擁護	84	91
消費者被害	8	5
認知症	725	761
高齢者虐待	53	54
住まいに関すること	791	753
心身の健康に関すること	485	499
その他	809	763
合計	11,507	11,471

○総合事業サービス支援計画作成数（新規、更新・変更含む）

《介護予防ケアマネジメント》

[単位：件]

	平成 30 年度	平成 29 年度
中央第 1	1,298	1,044
北第 1	1,394	857
北第 2	907	703
北第 3	1,231	781
東第 1	1,697	961
東第 3	1,100	770
豊平第 1	1,383	466
南第 3	509	—
西第 2	1,082	822
合計	10,601	6,404

○要支援 1・2 介護予防ケアプラン作成数（直営、再委託含む）

[単位：件]

	中央第 1		北第 1		北第 2		北第 3	
	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2
平成 30 年度	265	504	258	555	202	447	242	489
平成 29 年度	324	575	251	529	372	504	218	428
	東第 1		東第 3		豊平第 1		南第 3	
	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2
平成 30 年度	228	714	199	346	325	510	167	209
平成 29 年度	301	466	237	367	527	683	—	—
	西第 2		合計					
	要支援 1	要支援 2	要支援 1	要支援 2				
平成 30 年度	294	431	2,180	4,205				
平成 29 年度	354	463	2,584	4,015				

《地域ケア体制の構築》

[単位：回]

	中央第1		北第1		北第2		北第3	
	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携
平成30年度	2	158	7	235	12	302	4	233
平成29年度	0	187	3	223	3	188	13	268
	東第1		東第3		豊平第1		南第3	
	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携
平成30年度	18	249	2	268	1	118	7	108
平成29年度	14	290	5	294	1	78	—	—
	西第2		合計					
	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携	ケース 検討会議	その他関係 組織・機関 との連携				
平成30年度	8	274	61	1,945				
平成29年度	12	235	51	1,763				

(4) 札幌市介護予防センター運営事業

札幌市介護予防センター運営事業《7(4)》

地域の身近な相談窓口として、地域福祉活動と連携して介護予防の支援が必要な高齢者の早期把握と早期支援を行うため、介護予防・日常生活支援総合事業に基づく一般介護予防事業を通じ、地域住民や一般高齢者に対する介護予防の普及啓発を行います。



[事業所] 中央区（大通公園）、北区（新道南）、東区（北栄）、豊平区（美園）、南区（まこまない）、手稲区（中央・鉄北）

ア 地区地域ケア会議の開催（地域ケア会議：各地域ケア会議、準備会等含）
[単位：件]

	平成30年度	平成29年度
大通公園	38	22
新道南	44	34
北栄	28	24
美園	46	46
まこまない	33	36
中央・鉄北	28	33
合計	217	195

イ 総合相談支援 [単位：件]

相談内容	平成30年度	平成29年度
介護保険制度	164	208
介護予防	356	429
その他の保健福祉サービス	72	77

権利擁護	5	4
消費者被害	6	3
認知症	73	92
高齢者虐待	2	0
住まいに関する こと	33	45
心身の健康に 関すること	212	221
その他	70	73
合 計	993	1,152

ウ 介護予防啓発事業の実施

[単位：回・名]

	大通公園		新道南		北栄		美園	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
介護予防教室	72	1,049	109	1,742	88	1,503	71	1,598
	70	916	79	1,641	114	2,045	40	1,250
研修会・講演会	3	104	0	0	3	34	1	14
	0	0	9	151	14	144	2	41
相談会	0	0	0	0	2	4	1	21
	0	0	0	0	1	7	3	132
イベント	1	8	4	87	1	17	9	827
	2	1	2	79	0	0	8	487
合 計	76	1,161	113	1,829	94	1,558	82	2,460
	72	917	90	1,871	129	2,196	53	1,910
事業内容	まこまない		中央・鉄北		合 計			
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数		
介護予防教室	94	1,668	74	1,033	508	8,593		
	86	1,587	60	881	449	8,320		
研修会・講演会	0	0	0	0	7	152		
	0	0	2	43	27	379		
相談会	0	0	0	0	3	25		
	0	0	0	0	4	139		
イベント	0	0	0	0	15	939		
	1	34	7	245	20	846		
合 計	94	1,668	74	1,033	533	9,709		
	87	1,621	69	1,169	500	9,684		

※上段は、今年度、下段は前年度末実績

エ 地域福祉活動支援業務の実施

[実績数]

[単位：件・名]

	大通公園		新道南		北栄		美園	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
民生委員	0	0	0	0	0	0	0	0
児童委員	0	0	0	0	0	0	0	0

福祉のまち推進活動従事者	0	0	0	0	9	182	0	0
	0	0	0	0	10	224	0	0
町内会組織・地区社協	0	0	10	251	24	444	1	27
	3	232	7	217	18	591	1	25
老人クラブ	2	55	15	370	6	121	10	266
	6	193	19	468	2	48	8	264
その他	10	324	8	299	15	88	3	36
	4	40	7	247	13	76	1	19
合 計	12	379	33	920	54	835	14	329
	13	465	56	1,120	43	939	20	459

	まこまない		中央・鉄北		合 計	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
民生委員 児童委員	0	0	2	29	2	29
	1	30	5	48	6	78
福祉のまち推進活動従事者	0	0	13	283	22	465
	0	0	4	105	14	329
町内会組織・地区社協	1	77	5	173	41	972
	1	145	5	199	35	1,409
老人クラブ	10	216	20	725	63	1,753
	15	286	17	488	67	1,747
その他	0	0	5	330	41	1,077
	2	20	1	1	28	403
合計	11	293	45	1,540	169	4,296
	19	481	32	841	150	3,966

※上段は、今年度、下段は前年度末実績

オ 地域ケア体制の構築

(単位：回)

	大通公園	新道南	北栄	美園	まこまない	中央・鉄北	合計
その他会議の参加	2	4	0	0	0	1	7
	0	3	1	0	0	0	4
地区組織との連携	34	36	25	55	82	91	323
	37	34	16	55	71	73	286
その他関係機関との連携	29	45	76	74	25	69	318
	60	45	67	82	28	38	320

※上段は、今年度、下段は前年度末実績

(5) 自主活動化支援事業

自主活動化支援事業《7(5)》

老人福祉センターにおいて、住民主体の介護予防活動のキーパーソンとして活動している方、または今後活動予定の方に自主的な運営のノウハウに関する助言や技術的指導、交流の機会を提供することにより住民主体の介護予防活動が継続的に実施され、地域の中における生きがいや役割を持つ高齢者が増えることや住民同士の交流により地域の活性化を図ります。



[実施場所]中央、東、白石、厚別、豊平、清田、南、西の各老人福祉センター
 [単位：名]

施設別利用回数	平成 30 年度	平成 29 年度
中央	14	14
東	20	18
白石	23	25
厚別	39	34
豊平	89	13
清田	23	21
南	21	20
西	12	21
合計	241	166

(6) 生活機能向上支援事業

生活機能向上支援事業《7(6)》

老人福祉センターにおいて、日常生活に必要な家事能力を維持または向上するための講座を実施することにより、日常生活の活動性を高め、介護サービスに頼らない高齢者を増やし、生きがいづくりや自立した生活の継続支援を行うことにより、生活の自立に対する意識向上を図ります。



[実施場所]中央、東、白石、厚別、豊平、清田、南、西の各老人福祉センター
 [単位：名]

施設別利用回数	平成 30 年度	平成 29 年度
中央	114	150
東	93	143
白石	90	115
厚別	111	123
豊平	126	87
清田	105	82
南	137	119
西	98	57
延べ利用人数	874	876

(7) 札幌市短期集中予防型訪問指導事業

札幌市短期集中予防型訪問指導事業《7(7)》

介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスとして、地域包括支援センター等が要支援者と事業対象者について作成した介護予防ケアプランに基づき、本会が委託した訪問指導員（保健師、看護師）による月1~2回の訪問指導を3~6か月の短期間に集中的に行い、要介護状態となることを予防します。



[単位：回]

		平成 30 年度	平成 29 年度
回数	訪問指導等	115	401
	サービス担当者 会議等	93	103

(8) 札幌市要介護認定調査事務事業 [調査センター]

札幌市要介護認定調査事務事業《7 (8)》

指定市町村事務受託法人として、札幌市及びその他全国の市町村からの委託により、介護支援専門員である要介護認定調査員が調査センターから家庭や施設など対象者を訪問し、全国統一の74の調査項目に基づき、身体機能や認知機能等に関する認定調査を行います。



[単位：件]

サービス		平成 30 年度	平成 29 年度
札幌市	介護保険	63,616	76,879
	生活保護	562	620
他市町村		3,943	3,790

(9) 札幌市高齢者生活支援型ショートステイ事業 [長生園]

札幌市高齢者生活支援型ショートステイ事業《7 (9)》

長生園において、介護保険の要支援・要介護に該当しないが生活支援を必要としている高齢者について、そのご家族等が、病気や事故、冠婚葬祭等の理由により、止むを得ず一時的に支援できなくなったとき、長生園でその高齢者を宿泊によりお世話いたします。



[単位：名・日]

利用状況	平成 30 年度	平成 29 年度
利用人員	11	12
延べ利用日数	204	118

(10) 札幌市生活支援体制整備事業

札幌市生活支援体制整備事業の実施《7 (11)》

要支援者に対する予防給付のうち、訪問介護・通所介護について、市町村が地域の実情に応じた取組ができる地域支援事業へ移行されており、これに伴い、市内の多様な主体により、高齢者の生活課題（話し相手、外出支援、掃除など）に対し住民主体で支え合う体制づくりを、生活支援コーディネーターを配置し進めます。また、協議体の開催等を通じ、地域住民に対する啓発活動や担い手養成等を実施するため、多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働により、関係機関のネットワークの強化を図ります。



①各区に第1層生活支援コーディネーターの配置

ア 区コーディネーター連絡会議

- 第1回 平成30年4月24日 10:30~12:00
- 第2回 平成30年6月26日 10:30~12:00
- 第3回 平成30年8月28日 10:30~12:00
- 第4回 平成30年10月23日 10:30~12:00
- 第5回 平成30年12月26日 9:30~12:00 14:30~17:00
平成30年12月28日 9:30~12:00
- イ 新任第1層コーディネーターへの事業説明
平成30年5月11日 東・豊平・清田区社協事務所
- ②第2層生活支援コーディネーターの配置と連携
- ア 2層生活支援コーディネーター打ち合わせ
豊平区 平成30年5月14日
厚別区 平成30年6月1日
南区 平成31年1月23日
清田区 平成31年1月23日
手稲区 平成31年1月30日
白石区 平成31年2月5日
東区 平成31年2月6日
中央区 平成31年2月7日
- イ 第2層生活支援コーディネーター連絡会及びマニュアル検討会
平成30年9月26日 14:00~16:00
- ウ 第2層生活支援コーディネーター連絡会
平成31年2月13日 13:00~15:30
- エ 配置に向けた区社協への事業説明
中央区・清田区 平成30年9月18日
手稲区・南区 平成30年9月20日
東区・白石区 平成30年9月21日
- オ 11月1日~第2層生活支援コーディネーター配置（12か所）
中央区第1地域包括エリア（1名）
東区第1・第3地域包括エリア（2名）
白石区第1・第2・第3地域包括エリア（3名）
清田区第1・第2地域包括エリア（2名）
南区第1・第3地域包括エリア（2名）
手稲区第1・第2地域包括エリア（2名）
- カ 第2層生活支援コーディネーター新任研修会（当法人のみ）
平成30年11月2日 9:00~17:00
- キ 第1層・第2層生活支援コーディネーター事業説明会
平成30年11月16日 9:30~12:00
- ク 第1層・2層生活支援コーディネーター・フォローアップ研修会
第1回 平成30年12月18日 13:30~15:30
第2回 平成31年3月6日 9:30~11:45
- ケ 第2層生活支援コーディネーター・情報交換会
第1回 平成30年12月18日 15:30~17:00
第2回 平成31年2月13日 15:45~17:15

③協議体の開催と関係者のネットワーク化

ア 第1回全市協議体開催

平成30年10月26日 9:30～11:30

事業報告

南区第1層生活支援コーディネーター 金森 晃睦

北区第2層生活支援コーディネーター 岡田 周子

情報交換

「居場所における参加者等の状況と社会資源としての展望について」

イ 第2回全市協議体開催

平成31年3月20日 9:30～11:30

事業報告

南区第1層生活支援コーディネーター 佐竹 勝寿

白石区ボランティアグループ「ひだまり」代表者 大盛 芳彦 氏

北区第2層生活支援コーディネーター 高木 由佳

屯田支えあい 代表者 千種 広行 様 樋口 篤子 氏

情報提供

「インフォーマルサービス・企業の取組みについて」

ダスキン ライフケア札幌白石ステーション マネージャー 北林 恵 氏

情報交換

「インフォーマルサービスの現状と活用について（ニーズとサービスのマッチング）」

④高齢者の生活支援ニーズの把握

⑤社会資源の把握と開発

⑥生活支援等サービス情報一覧の作成

・平成30年版生活支援等サービス情報一覧作成（2,000部・153事業所掲載）

⑦生活支援ボランティアの養成と活動支援

⑧区民向けフォーラムの開催

(11) さっぽろ子育てサポートセンター事業

さっぽろ子育てサポートセンター事業《7（10）》

子育ての支援を受けたい方（依頼会員）と援助したい方（提供会員）とにより会員組織を作り、日常的な子どもの預かりなど地域の会員相互で子育て家庭を支援する「さっぽろ子育てサポートセンター事業」を会員と協働で実施します。



① 子育て家庭へのサービス（保育園・幼稚園等の送迎、保育園・幼稚園等終了後の託児）の実施

《サービスの提供》

[単位：名]

	提供会員	依頼会員	両方会員	合計
会員数	591	5,074	143	5,808
	582	4,184	169	4,935

※上段は、今年度、下段は前年度末実績

《サービス実績数》

	平成 30 年度	平成 29 年度
世 帯	1,720	1,860
回 数	10,025	10,870
時 間	13,809.0	14,555.0

② サポートセンター会員の募集・広報啓発活動

○ 会員の募集

説明会を開催して会員を募集し、さっぽろ子育てサポートセンター事業に係わる会員の確保を行った。

	説明会 区分	開催 回数	参加 人数	新規登録者数
平成 30 年度	定期 (全市)	4	60	提供会員 57 名 依頼会員 1,373 名 両方会員 5 名 合 計 1,435 名
	定期 (各区)	114	315	
	個別	随時	244	
平成 29 年度	定期 (全市)	4	93	提供会員 56 名 依頼会員 545 名 両方会員 13 名 合 計 614 名
	定期 (各区)	120	501	
	個別	随時	313	

③ 会報誌「さぼめーる」の発行

〔発行回数〕 年 1 回：5,200 部発行

④ サポートセンター会員交流会の開催

交流会を開催し情報交換や会員(依頼会員・提供会員)相互の交流を深める場を設定した。

〔単位：回・名〕

		平成 30 年度	平成 29 年度
開催 回数	全体交流会	0	1
	区別交流会	10	10
参加人数		83	95
託児数		34	34

⑤ サポートセンター会員に関する研修（新規提供会員登録時、レベルアップ）の開催

○ 各種研修

さっぽろ子育てサポートセンター新規提供会員講習会。

新規に登録した提供会員を対象に、活動に必要な知識及び技術の習得を目的とした講習会を実施した。

〔単位：回・名〕

	平成 30 年度	平成 29 年度
開催回数	4	4

参加者数	113	117
託児	実施せず	6

○さっぽろ子育てサポートセンターレベルアップ講習会
提供会員の知識及び技術の向上を目的とした講習会を実施した。

[単位：回・名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
開催回数	2	2
参加者数	40	39
託児	実施せず	実施せず

○連絡調整会議

アドバイザーとサブ・リーダーとの定期的な情報交換のため連絡調整会議を開催した。

[開催回数] サブ・リーダー会議 年 1 2 回 (内 3 回 サブ・リーダー、
エリア・リーダー合同会議)

(12) 介護サポートポイント事業の実施【再掲：〔2〕(4)】

(13) 札幌市情報センター管理運営事業

①利用促進と地域、学校への情報提供

《利用状況》

	平成 30 年度	平成 29 年度
開館日数 (日)	291	293
貸出利用者数 (名)	8,727	9,437
1 日平均	30	32
貸出冊数 (冊)	27,604	29,202
1 日平均	95	100
新規登録者 (人)	228	306

《登録者数》 [単位：名・団体]

個人	福祉団体	その他団体
15,713	86	18
15,597	77	18

※上段は、今年度、下段は前年度末実績

②福祉関連図書の充実と利便性の向上

○資料室の運営 (図書資料サービス) [単位：冊・本]

	図書資料	ビデオ・DVD
蔵書数	22,179	925
	22,487	926

※上段は、今年度、下段は前年度末実績

③自主事業 (読み聞かせ等) による広報啓発、情報提供

《親子で楽しむ絵本のよみきかせ会》 [単位：回・名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
開催回数	3	3
参加者数	79	125

《大人のための朗読会》 [単位：回・名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
開催回数	2	3
参加者数	238	564

④図書ボランティアの育成と受入

[ボランティア登録者数] 9名 [単位：回]

	平成 30 年度	平成 29 年度
活動回数	51	66

⑤学生レポーター事業

[学生レポーター登録数] 8名

[ミーティング回数] 11回

ア 「学生レポーター通信」の発信

本会ホームページを活用し、今までにない学生の視点から福祉に関する身近な話題や取材記事を随時発信

イ 情報紙「ウエルウエル」の発行（1回）

ウ 点字本に関する取材・関連展示コーナーの設置

視聴覚障がい者情報センターへの取材を行い、パネルを作成。また、資料室内に点字絵本等を集めた特集コーナーを設置した。

エ その他企画

図書福袋、覆面本の実施

(14) 介護人材定着化研修事業（雇用管理責任者研修含む）

【実施研修】

[単位：名]

	研修テーマ	講師	受講数	実施日（実施回数）		各回
				①	②	
1	雇用管理責任者研修	宮島社会保険労務士事務所 所長 社会保険労務士 宮島康之 氏	114	①	11月2日(金)	37
				②	12月5日(水)	23
				③	1月23日(水)	32
				④	2月15日(金)	22
2	メンタルヘルス研修	北海道医療大学 心理科学部 教授 富家直明 氏	60	①	9月18日(火)	14
				②	11月14日(水)	46
3	モチベーション向上研修	株式会社アムリプラザ 代表取締役 岡山洋一 氏	33	①	12月4日(火)	33
4	法律基礎知識研修	札幌・石川法律事務所 弁護士 石川和弘 氏	41	①	11月22日(木)	30
				②	2月8日(金)	11
5	外国人介護人材 基礎知識研修	R S K流通産業協同組合 管理部長 荒木賢治 氏	67	①	1月8日(火)	27
				②	1月9日(水)	40
6	介護ロボット導入研修	一財)北海道介護ロボット 推進協議会 代表理事 萩生田知香志 氏	12	①	1月17日(木)	12
7	認知症介護基礎知識研修	札幌市西区	87	①	11月28日(水)	26

		介護予防センター西町 センター長 菊地 伸 氏		②	12月6日(木)	45
				③	2月15日(金)	16
8	コミュニケーション スキル・接遇向上研修	ライフコーチ 後藤田邦彦	221	①	10月31日(水)	127
				②	11月28日(水)	94
9	腰痛予防研修	千歳 リハビリテーション大学 副学長 伊藤俊一 氏	15	①	10月17日(水)	15
10	コーチング研修	株式会社アムリプラザ 中村 舞 氏	34	①	9月21日(金)	10
				②	11月29日(木)	24
11	クレーム対応研修		40	①	12月7日(金)	40
12	介護職員等交流研修会 (経験3年未満)	社労士オフィスONE 代表 特定社会保険労務士 沢田寿晴 氏	38	①	12月11日(火)	33
				②	2月4日(月)	5
13	介護職員等交流研修会 (経験4年以上)		20	①	1月18日(金)	16
				②	2月19日(火)	4
14	介護職員等交流研修会 (管理者・経営者)		34	①	12月18日(火)	34
15	雇用管理改善 トップセミナー 「魅力ある職場づくりの ために」	社福) あいの土山福祉会 特別養護老人ホーム エーデル土山 施設長 廣岡隆之 氏	31	①	1月31日(木)	31
16	介護職員としての すこやかマナー研修	株式会社S. PLANET 代表取締役 瀬川弘絵 氏	9	①	10月5日(金)	9
17	介護技術 フォローセミナー	札幌市社会福祉協議会 福祉人材研修係 職員	18	①	2月14日(木)	18

〔8〕在宅支援に関する研修事業の推進

(1) 介護職員初任者研修の実施

〔単位：回・名〕

	平成30年度	平成29年度
開催回数	2	2
受講者数	15	19

(2) 同行援護従事者養成研修の実施

〔単位：回・名〕

	平成30年度	平成29年度
開催回数	3	3
受講者数	50	68

(3) 全身性障害者移動介護従事者養成研修の実施

〔単位：回・名〕

	平成30年度	平成29年度
開催回数	2	2
受講者数	39	83

(4) 専門職としての知識及び技術の向上を図るための職員研修の実施

○市民を対象とした介護技術等の普及に関する研修（かんたん！らくらく介護教室）

在宅介護を行っている家族や介護に関心のある「子どもから高齢者まで」を対象に在宅介護に関する知識や技術の習得を目的とした介護教室（研修会）などを実施した。（出前講座含む）

[単位：回・名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
開催回数	11	3
受講者数	251	34

○有資格未就労者及び介護業務従事者を支援する研修

介護現場で働いている人を対象に、介護技術等の質的向上及び職場への定着を目的とした研修会を実施した。

[単位：回・名]

	平成 30 年度	平成 29 年度
開催回数	3	1
受講者数	28	7

[9] 指定管理施設の管理運営

(1) 養護老人ホーム札幌市長生園管理運営事業（札幌市指定管理者施設）

養護老人ホーム札幌市長生園《8（1）》

環境上の理由や経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者に対し、入所により養護するとともに自立した生活を営み、社会参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行います。



[年齢別状況]

平成31年3月末現在

年齢	性別		計
	男	女	
69才以下	1名	1名	2名
70才～74才	1名	3名	4名
75才～79才	0名	9名	9名
80才～84才	1名	18名	19名
85才以上	1名	15名	16名
合計	4名	46名	50名
構成比	8.0%	92.0%	100.0%

①措置による養護老人ホーム入居者の支援

- ア 生活指導の実施
- イ 給食の実施
- ウ 保健衛生等の実施

②介護予防事業の実施

《介護予防事業実施状況》

[単位：名]

実施状況	平成 30 年度	平成 29 年度
はつらつ健康体操	414	463
嚙下(えんげ)体操	14,087	14,199

③余暇活動の実施

《各種クラブ活動実施状況》

[単位：名]

クラブ名	平成 30 年度	平成 29 年度
書 道	88	87
茶 道	77	77
詩 吟	188	170
カラオケ	176	168
元気体操	707	526

《教養娯楽行事及び季節に合わせたレクリエーション行事実施状況》 [単位：名]

実施月	行事名	参加人数
4 月	4・5月合同誕生会	48
	知っ得講話	25
5 月	桜見学	42
	花祭り（龍谷高校交流会）	49
6 月	6・7月合同誕生会	47
	避難訓練	46
	日帰りバスレク	18
	知っ得講話	23
	さより保育園交流会	4
	神輿渡御見学	10
	口腔問診	8
7 月	庭園喫茶	28
	知っ得講話	19
	ジンギスカンパーティー	43
	入園者体力測定	41
	長生園夏祭り	49
8 月	8・9月合同誕生会	49
	花火大会	29
	買物し隊	13
	きらく会ゲーム大会	5
	日帰りバスレク	15
	西本願寺盆踊り	9
	野点	7
	入園者健康診断	49

9 月	生花講習会	9
	大谷第二幼稚園慰問	24
	入園者懇談会	37
	さより保育園交流会	2
	作品展示会	50
10 月	10・11 月合同誕生会	49
11 月	クリスマス飾り付け	11
12 月	クリスマス会	42
	さより保育園交流会	18
	学生美容ボランティア	14
	全館消毒	10
	入園者懇談会	6
	健康湯	40
	イルミネーション見学	23
1 月	カルタ大会	13
	新年会	46
	初釜	14
	ゆき灯りのまち	45
	12・1 月合同誕生会	47
2 月	節分豆まき	47
	雪まつり見学	14
3 月	ひな祭り会	46
	知っ得講話	14
	入園者懇談会	41
	さより保育園交流会	11
	2・3 月合同誕生会	50

④住環境の整備

入園者の重度化により、居室に手すりを設置するなど個別対応を実施した。

⑤介護保険法による特定入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業【再掲：6（4）】

⑥その他

（2）札幌市老人福祉センター管理運営事業

老人福祉センター管理運営事業《8（2）》

市内に居住する 60 歳以上の方に対し、通所利用により、各種相談をはじめ、健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の場を総合的に提供することにより、高齢者の健康で明るい生活を営むための支援を行います。



〔実施場所〕中央区、東区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区、西区
の各老人福祉センター

ア 利用状況

延べ利用人数

487, 502名（497, 025名）

登録人数

1, 887名 (1, 676名)

《各施設別利用状況》

[単位：名]

施設	利用状況	平成 30 年度	平成 29 年度
中央	延べ利用人数	48,848	61,012
	登録人数	220	246
東	延べ利用人数	71,886	76,320
	登録人数	240	217
白石	延べ利用人数	76,150	76,075
	登録人数	349	244
厚別	延べ利用人数	53,112	36,014
	登録人数	280	218
豊平	延べ利用人数	43,771	42,668
	登録人数	192	176
清田	延べ利用人数	76,057	84,238
	登録人数	199	196
南	延べ利用人数	53,408	53,612
	登録人数	169	139
西	延べ利用人数	64,270	67,086
	登録人数	238	240
合計	延べ利用人数	487,502	497,025
	登録人数	1,887	1,676

- ※ 平成 30 年 9 月 6 日～9 月 12 日の 7 日間は、胆振東部地震の影響により全センター休館
- ※ 中央老人福祉センターは、社会福祉総合センターの大規模修繕に伴い、利用制限あり

イ 事業内容 (全体)

a) 高齢者に対する生活相談等に関する業務 [単位：名]

利用状況	平成 30 年度	平成 29 年度
生活相談	2,451	2,592
健康相談	53	601
専門家等相談	1,545	—

b) 健康増進・機能訓練に関する業務 [単位：名]

利用状況	平成 30 年度	平成 29 年度
健康管理	62,944	59,228
機能回復訓練	66,495	63,170
講演・運動等事業	31,407	35,301

c) 浴室業務 [単位：名]

利用状況	平成 30 年度	平成 29 年度
入浴	43,374	46,773

d) 教養講座の開講に関する業務

《各施設別参加人数》

[単位：名]

施設	平成 30 年度	平成 29 年度
中央	10,141	20,394
東	22,408	22,631
白石	15,387	15,371
厚別	13,202	8,574
豊平	14,858	14,977
清田	17,463	18,160
南	10,926	10,705
西	16,793	16,898
合計	121,178	127,710

e) レクリエーション・各種行事の開催等に関する業務 [単位：名]

利用状況	平成 30 年度	平成 29 年度
卓球、囲碁、将棋、オセロ、トランプ、読書等	179,996	184,950
各種行事	25,775	29,697

f) 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

《利用状況》

[単位：名]

施設	平成 30 年度	平成 29 年度
中央	7,905	12,836
東	23,429	23,513
白石	16,334	17,817
厚別	17,600	12,668
豊平	12,192	11,346
清田	16,731	17,132
南	10,436	11,476
西	17,982	18,941
合計	122,609	125,729

(3) 通所介護事業、介護予防通所介護事業及び総合事業通所介護相当型サービス
【再掲：〔6〕(5)】

(4) 老人休養ホーム札幌市保養センター駒岡管理運営事業

老人休養ホーム札幌市保養センター駒岡管理運営事業《8(3)》

高齢者等に対して、低廉で健全な保健休養及び生きがいを高めるための保養の場を提供することにより、高齢者等の心身の健康と福祉の増進を図り、健康で明るい生活を営むためのサービスを提供いたします。



ア 施設概要

宿泊室17室、大広間、中広間、浴室、レストラン、売店、芝生広場、パークゴルフ場(屋外)、パットゴルフ場(屋外)
※屋外パークゴルフ場及びパットゴルフ場は休止中

イ 利用状況 〔単位：名〕

各施設別利用回数	平成 30 年度	平成 29 年度
宿泊者数	10,634	10,226
休憩者数	86,881	88,272
朝市入場者数	3,530	3,665
来館者合計	101,045	102,163

※平成 30 年 9 月 6 日～9 月 12 日の 7 日間は、胆振東部地震の影響により休館

ウ 定 員
宿泊 72 名

エ 事業内容

- a) 各種施設の利用提供に関する業務
- b) 高齢者の生活相談、健康増進等に関する業務
- c) 介護や支援を要する方及びその介護を行う家族等への支援に関する業務
- d) 高齢者等の社会参加機会の創出に係る業務
- e) 教養講座の開講に関する業務

〔実施状況〕 〔単位：名〕

講座名	平成 30 年度	平成 29 年度
書 道	171	246
あへあほ体操	198	227
合唱	180	234
カラオケ	716	603
水彩画	211	235
英会話	1,469	1,283
ビリヤード	812	565
ヨガ	685	710
声出して本を読もう	94	69
ペン習字	185	189
初心者麻雀	1,211	1,076
歌いましょう	40	74
陶 芸	1,653	1,860
講座計	7,625	7,371

f) 交流促進に係る業務

〔実施状況〕 〔単位：名〕

実施月	行事名	参加人数
5 月	もりの仲間の駒岡朝市 (2 回)	386
6 月	駒岡の自然を知ろう	9
	オカリナロビーコンサート	30
	もりの仲間の駒岡朝市 (2 回)	255

7月	ロビーコンサート	30
	親子陶芸教室	10
	講座生バスツアー	12
	もりの仲間の駒岡朝市 (2回)	232
8月	星空観察会	27
	もりの仲間の駒岡朝市 (2回)	86
9月	収穫体験	33
	駒岡秋まつり	2,308
10月	アイヌ刺繍講座	10
	こまおかの自然を知ろう	9
	折り紙講座	8
	脳活塾	4
	もりの仲間のこまおか朝市 (2回)	263
11月	アイヌ刺繍講座	6
	囲碁大会	17
12月	脳活塾	4
	こまおか森のようちえん	25
	マーじゃん大会	40
	アイヌ刺繍講座	8
	親子陶芸教室	8
1月	アイヌ刺繍講座	9
	折り紙講座	10
	写真講座	4
2月	オカリナロビーコンサート	30
	アイヌ刺繍講座	11
	スノーシュー体験ツアー	8
	折り紙講座	8
	こまおか冬まつり	651
	写真講座	19
	ファットバイクミーティング@駒岡	31
	こまおか森のようちえん	25
3月	ビリヤード大会	6
	駒岡の自然を知ろう冬	7
	アイヌ刺繍講座	11
	折り紙講座	7
	歩くスキー体験会	12
	写真講座	12

(5) 札幌市社会福祉総合センター

札幌市社会福祉総合センター《9(5)》

多くの市民に、社会福祉に対する理解を深めてもらうため、福祉相談やイベントあるいは社会福祉に関する情報を提供しながら、社会福祉活動の場としても積極的に利用していただき、総合センターの設置目的である「市民の福祉の増進に寄与する」の実現を目指します。



①貸し会議室等の貸出

《会議室等〔利用状況〕》

[単位：団体・名]

階	種 別		平成 30 年度		平成 29 年度	
			団体数	利用人数	団体数	利用人数
1	保育センター			2,112		2,050
	ひとり親家庭支援センター		1,407	12,630	1,551	15,981
	アトリウム		51		283	
2	中央老人福祉センター			48,848		61,012
	シルバー人材センター			13,581		20,249
3	相談コーナー			1,389		1,321
	情報センター	貸人数		8,727		9,437
		貸冊数		27,604		29,202
	中国帰国者生活相談室			4,561		4,323
	日常生活自立支援事業			311		448
	法人後見事業			995		605
	成年後見制度利用支援事業			3,789		3,031
	市民後見推進事業			2,776		2,221
	障害者あんしん相談			2,813		2,843
	高齢者虐待相談			123		102
	福祉サービス苦情相談センター			532		518
	障がい者虐待相談			140		151
4	ボランティア活動センター		1,217	12,020	1,280	11,850
	福祉用具展示ホール			6,395		8,987
5	運動浴室		81	934	476	5,378
会議室	大研修室		71	5,797	493	47,089
	第1会議室		97	694	693	4,740
	第2会議室		71	990	546	8,043
	第3会議室		91	1,292	567	7,522
	特別会議室		80	448	539	3,388

視聴覚兼会議室	66	1,737	470	11,469
視察団体	14	170	16	203
合 計 (貸冊数は除く)	3,246	133,804	6,914	232,961

※総合センター保全工事に伴い、6月からアトリウム、貸会議室、運動浴室使用不可
 ※平成30年9月6日は、胆振東部地震の影響により休館

②各種相談事業

[単位：件]

内 訳 相 談 内 容		相談件数	
		平成30年度	平成29年度
認知症高齢者介護相談 (毎週金曜日)		203	221
母子相談	就業相談 (年末年始を除く毎日)	6,318	7,565
	法律相談 (第2・4水曜日, 要予約)	159	135
	心療相談 (第3日曜, 水曜日, 要予約)	27	17
	一般相談 (年末年始を除く毎日)	981	1,028
	父子相談 (火・木曜日, 祝日の場合は土曜)	80	46
小 計		7,565	8,791
一般	ふくし無料法律相談 (毎月第1・第3木曜日)	18	13
	年金相談 (毎週火曜日)	平成29年度で終了	13
	終活相談 (毎月第4火曜日)	108	平成30年度から開始
合 計		7,894	9,038

・終活事業 (終活相談関連セミナー)

「わたしの生き方・逝き方セミナー～終活2018～」

[単位：名]

実施日	セミナーテーマ	参加人数
4月25日	美しく健やかに年齢を重ねるために ～ヘア&メイクのワンポイントアドバイスを通じて～	60
5月23日	「終活」第一歩は、身の回りの整理から ～軽やかな生き方～	250
6月26日	お金にまつわるアラカルト ～家計・貯金・資産運用～	90
7月24日	遺志を継ぐもの～相続・遺言・遺贈～ +ワンポイント成年後見	85
8月28日	ボランティアで地域貢献 ～高齢者の生きがいづくり～	50
9月25日	生き生き人生!! ～中高年の働き方と生きがいづくり～	40

10月23日	もしもの時に備える、私らしい葬儀のあり方 ～最近の葬儀事情から～	80
11月27日	対人コミュニケーション ～男性脳・女性脳の違い～	50
12月25日	脳と認知症 ～予防と看護・介護者の視点～	55
1月22日	しっかり食べて、上手に老いる ～虚弱予防をヒントに～	55
2月26日	介護サービス・介護予防サービスを知ろう ～住み慣れた自宅で、少しでも長く暮らし続けるために～	75
3月26日	気になる！シニアの住まい問題	80

③福祉用具利用促進事業

ア 福祉用具等の展示及び相談

・福祉用具関連企業連絡会

第1回

〔開催日〕平成30年12月25日

〔参加企業〕14社

第2回

〔開催日〕平成31年3月6日

〔参加企業〕12社

イ 福祉用具リサイクル事業

《利用状況》

〔単位：件〕

		平成30年度	平成29年度
福祉用具 リサイクル	譲ってください 登録	158	122
	譲ります 登録	174	107
	成立件数	115	75

ウ 福祉用具特設展示及び講演会の開催

a 福祉用具機器展 in さっぽろ2018の開催

〔開催日〕平成30年11月9日、10日

〔場所〕札幌市医師会館5階

〔内容〕福祉用具関連企業42社による最新の福祉用具の展示と体験

〔参加人数〕2日間で延べ1,020名

b 福祉用具展示ホール 月イチイベント事業

福祉機器展示ホールを活用したイベント行事の開催（毎月第2土曜日）

〔単位：名〕

実施日	イベント名	参加人数
4月14日	排せつケア講習会	46
5月12日	コミュニケーションロボットの現在	42
6月9日	食べるは元気！介護食で手軽に美味しい食事	29

7月14日	徘徊センサー講習会	32
8月11日	ウエイトトレーニングで介護予防	16
9月8日	三次元足型測定器によるケアシューズ相談会 ※北海道胆振東部地震により中止	—
10月13日	原気けいらく体操	26
12月8日	排せつケア講習会	24
1月12日	福祉用具を作ろう	39
2月9日	自動採尿器スカットクリーンについて	21
3月9日	睡眠講習会	28

c その他イベントの実施

・ 体力測定会

〔開催日〕平成30年5月17日、7月19日、9月20日

〔内容〕身体状況の測定と理学療法士からのアドバイス

〔参加人数〕1回目26名、2回目20名、3回目12名

・ 専門職向けセミナー「介護の未来を拓く最新ロボット」

〔開催日〕平成30年8月29日

〔内容〕排せつ予測デバイスやコミュニケーションロボットの実演等

〔参加人数〕24名

・ 原気チェック&原気体操

〔開催日〕平成30年10月10日、11月14日、12月12日

平成31年1月9日、2月13日、3月13日

〔内容〕筋肉の状態チェックと鍼灸師からの体操指導

〔参加人数〕1回目22名、2回目19名、3回目37名

4回目33名、5回目18名、6回目17名

④ 利用促進の取組

a PRの実施

b 自主事業の実施

〔10〕 広報・啓発活動

市民への福祉情報の提供と広報・啓発活動の充実強化《10（1）》

地域福祉やボランティア活動に関する情報の有効活用を推進し、
広報誌やホームページの活性化を図ります



（1） 広報誌「やさしいまち」発行

〔発行回数〕6回（5月号、7月号、9月号、11月号、1月号、3月号）

〔発行部数〕113,400部（@18,900部）

（2） ホームページ運営事業

〔内容〕ボランティア情報、福祉のまちづくり情報、福祉用具情報、
ふれあい・いきいきサロン紹介、相談窓口、本・ビデオ紹介、
区社協ページ、総合センター貸室情報、広報誌紹介他

※ホームページのリニューアルに向けたレイアウト・内容の検討・調整

(3) 広報戦略会議の設置・運営

広報戦略会議の設置・運営《10(2)》

組織の魅力・価値を積極的に発信し、活動者や応援団を増やすための社協らしい広報のあり方について、組織横断的なプロジェクトとして設置します。



(4) 情報センター管理運営【再掲：7(13)】

(5) 札幌市社会福祉大会の開催

〔開催日〕平成30年7月4日

〔場 所〕わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）

〔内 容〕記念講演「認知症も怖くない・グルメレポーターの
役に立つ食の話とカンタン健康法」

講師 レポーター 菊田 あや子 氏

表彰式

〔参加者〕1,300名（1,400名）

[11] 障がい者支援の取組

(1) 働く障がい者表彰事業

(2) 障がい者の日記念事業に対する協力

(3) 札幌市自立支援協議会に対する協力

(4) 人権セミナーに対する協力

(5) 障がい者講師養成・派遣事業の実施【再掲：〔2〕(3)①】

(6) 障がい当事者スピーチマラソンの開催【再掲：〔2〕(3)①】

(7) 障がい者のスポーツ・遊び体験事業の実施【再掲：〔2〕(3)②】

(8) 精神保健福祉事業への協力

[12] 企業や市民による社会貢献の活動支援

(1) 企業・市民が参加しやすい福祉貢献の環境づくり

① インドカレー ミルチ

〔内 容〕カレーパンワークショップ

本格インドカレー店の味と技術を障がい者就労支援事業所のパン製作に提供することで、より美味しく質の高いパンの商品化につなげるプロジェクト

ワークショップ開催（9/5、9/27）

- ② 株式会社太陽グループ【再掲：〔2〕（3）②】
- ③ イベント・セミナーでの講師等協力

〔13〕社会参加の促進

（1）福祉用具利用促進事業【再掲：〔9〕（5）③】

（2）札幌市高齢者福祉バス事業

≪運行状況≫

	平成 30 年度	平成 29 年度
延べ運行台数（台）	407	455
延べ利用者数（名）	13,357	15,163

○高齢者福祉バス運営委員会

平成 31 年 1 月 25 日 10：00～11：30 社会福祉総合センター 1 階研修室

○高齢者福祉バス抽選会

平成 31 年 3 月 26 日 13：00～14：45

北翔大学 北方圏学術情報センター PORTO（ポルト） 1 階ホール

〔14〕社会福祉事業関係者への支援

（1）社会福祉施設への支援（施設福祉部会事業）

①社会福祉施設新人職員セミナーの開催

〔開催日〕平成 30 年 7 月 27 日

〔内 容〕①研修会 テーマ「接遇マナーについて」

講 師 株式会社アムリプラザ 取締役 坂井 礼子 氏

②交流会「会食・ゲーム」

〔参加者〕77名（64名）

②社会福祉施設職員救急法セミナーの開催

〔開催日〕平成 30 年 8 月 20 日～24 日

〔場 所〕社会福祉総合センター

〔内 容〕普通救命講習Ⅱ

〔参加者〕合計 100 名（128 名）

③大都市社会福祉施設協議会への参加

〔開催日〕平成 30 年 6 月 7 日～8 日

〔場 所〕ヒルトン福岡シーホーク

〔テーマ〕「大都市における社会福祉施設の役割と期待

～地域共生社会の実現に向けて～」

〔内 容〕運営協議会、基調講演、種別研究会、総会 他

〔参加者〕8 名

社会福祉法人 札幌慈啓会

専務理事・総合施設長 加藤 敏彦 氏

社会福祉法人 聖静学園 理事長 芝木 厚子 氏

社会福祉法人 常德会 児童養護施設興正学園

施設長 秦 直樹 氏

社会福祉法人 鶴翔福祉会 きさく苑

施設長	伊藤	敏幸	氏
理事長	前鼻	守	氏
会長	菊地	秀一	氏
施設長	山田	智己	氏
総合施設長	浜田	悟	氏

社会福祉法人 西平和会
 札幌市私立保育園連盟
 社会福祉法人 札幌明啓院
 社会福祉法人 札幌報恩会
 他、本会職員4名

④社会福祉施設内定者向け合同オリエンテーション

〔開催日〕平成31年2月27日
 〔場所〕札幌市教育文化会館 研修室305
 〔参加人数〕61名
 〔内容〕講演、グループワーク等
 〔テーマ〕「社会人としての心構え～チームで働くということ～」

⑤課題解決事業の開催

(2) 区社協及び各種団体への助成

- ①区社協助成事業
- ②各種団体助成事業

(3) 介護保険事業所及び介護施設に勤務する職員への支援

- ①札幌市介護職員人材定着化事業（研修）【再掲：〔7〕（14）】

〔15〕社協組織の運営

経営強化の取り組み《11(1)》

介護報酬の改定や補助・委託の考え方が厳しくなる中、安定的な経営基盤を確保するためにファンドレイジングの手法を取り入れた自主財源確保の取り組みを、組織をあげて進めます。



職員確保・育成強化《11(2)》

職員の資質の向上を図るために研修体系を更に充実させるとともに、全国的に働き手の不足が深刻化してくる中、組織の魅力を伝える広報戦略及び待遇の見直し等職員の確保にかかる取組を強化します。



(1) 事務局体制等の充実強化

①事務の効率化の促進

○ 経営会議の開催

- 第1回 平成30年5月24日
- 第2回 平成30年9月18日
- 第3回 平成30年11月22日
- 第4回 平成30年12月14日
- 第5回 平成31年1月19日
- 第6回 平成31年3月12日
- 第7回 平成31年3月18日

②諸規程及び内規類の整備による管理機能強化

③職員研修の実施（部内研修、部外研修、資格取得支援等）

〔単位：回、名〕

研修区分	回数	受講者数 派遣者数
部内研修	77	延べ 1,553
部外（派遣）研修	42	延べ 113

ア 部内研修

a 一般・共通研修

【採用・昇任等研修】

- ・採用時研修（新規で採用された全職員対象）

〔開催日〕 新任職員採用時研修Ⅰ及びⅡ

職員研修計画に基づき隔月開催（全6回）

Ⅰ：4月、6月、8月、10月、12月、2月（6回）

Ⅱ：4月、6月、8月、10月、12月、2月（6回）

〔内 容〕 Ⅰ：社協の組織と関係規程・規則等、事業概要の説明、社協職員として身に付けておくべき基本的なスキル ほか
Ⅱ：諸規程の理解、供覧と回覧、起案の仕方、経理処理ほか

〔人 数〕 合計 219名

- ・新人事務職員研修（3日間）

〔開催日〕 平成30年4月16日、17日、18日

〔内 容〕 市・区社協の地域福祉部門に採用された事務職員が職務遂行に必要な基本的な知識と特に地域福祉を推進するCSWとしての必要な知識や技術、専門的価値などを学ぶ。

〔人 数〕 4名

- ・新任係長職研修

〔開催日〕 平成30年4月25日

〔内 容〕 本会事業の取組状況（現状と課題）等を理解し、係長職としての責任と役割を担うことができる人材育成の一環として、本研修を実施する。

〔人 数〕 7名

- ・新任管理職研修

〔開催日〕 平成30年4月27日

〔内 容〕 管理職としての役割、使命、課長職としてのあるべき姿と現場能力発揮ほかマネジメント能力と部下のメンタルヘルス

〔人 数〕 6名

【課題別・スキルアップ研修】

- ・事業予算確保研修（全係長職、各課経理担当者）

〔開催日〕 平成30年6月8日

〔内 容〕 全国的な助成金等情報、活用と申請テクニック

- 〔人 数〕 22名
- ・コンプライアンス研修
 - 〔開催日〕 平成30年7月18日
 - 〔内 容〕 ミス防止のための組織全体の仕組みに関わること、法令等
 - 〔人 数〕 82名
- ・広報研修：職種別に実施※全4回予定のうち9月6日は地震のため中止
 - 〔開催日〕 平成30年6月22日、8月24日、12月6日（3回）
 - 〔内 容〕 社協の価値と魅力を伝えることが広報！
 - 〔人 数〕 98名
- ・メンタルヘルス研修：全2回(介護職員人材定着化研修で実施)
 - 〔開催日〕 平成30年9月18日、11月14日
 - 〔内 容〕 基礎知識、認知行動療法ほかセルフケアとストレス防止等
 - 〔人 数〕 18名
- ・クレーム対応研修
 - 〔開催日〕 平成30年10月11日
 - 〔内 容〕 不必要なクレームを招かないために
 - 〔人 数〕 111名
- ・ファンドレイジング研修
 - 〔開催日〕 平成30年11月12日
 - 〔内 容〕 社協活動とファンドレイジング～お金が無いで終わらせない！
地元を変える社協マンになるための仲間と資金の集め方～
 - 〔人 数〕 28名
- ・コミュニケーションスキルアップ研修（介護職員人材定着化研修共用）
 - 〔開催日〕 平成30年10月31日、11月28日（全2回）
 - 〔内 容〕 本当の共感とは何か 聴き方のスキル 人を惹きつける行動
 - 〔人 数〕 185名
- ・やる気（モチベーション）向上研修（介護職員人材定着化研修共用）
 - 〔開催日〕 平成30年12月4日
 - 〔内 容〕 部下のやる気を引き出すコミュニケーションスキルほか
 - 〔人 数〕 14名
- b 専門職員研修
 - ・各センター専門職員採用時研修（包括、調査、居宅、ヘルパー等）
 - 〔開催日〕 随時（合計32回）
 - 〔人 数〕 合計81名
 - ・調査センター新任所長研修
 - 〔開催日〕 平成30年8月22日
 - 〔人 数〕 1名
 - ・新任主任ヘルパー研修
 - 〔開催日〕 平成30年8月21日、10月26日
 - 〔人 数〕 2名
 - ・地域包括支援センター第1種専門職員予防プラン作成スキルアップ研修
 - 〔開催日〕 平成30年6月28日
 - 〔人 数〕 20名
 - ・地域包括支援センター職員予防プラン研修
 - 〔開催日〕 平成30年9月19日、21日、27日
 - 〔人 数〕 118名

- ・要介護認定調査員専門研修
〔開催日〕平成30年9月26日、28日 〔人数〕174名
- ・調査センター中堅職員研修Ⅰ
〔開催日〕平成30年10月30日 〔人数〕4名
- ・調査センター中堅職員研修Ⅱ
〔開催日〕平成30年12月19日 〔人数〕58名
- ・サービス提供責任者スキルアップ研修
〔開催日〕平成30年9月13日、14日 〔人数〕78名
- ・居宅介護支援事業所職員新任第1種専門職員研修
〔開催日〕平成30年5月25日 〔人数〕3名
- ・相談センタースキルアップ研修
〔開催日〕平成30年8月30日、31日、11月15日
〔人数〕118名
- ・第1種専門職員・第2種専門職員研修
〔開催日〕平成30年5月21日、6月12日 〔人数〕100名
- 【専門職フォローアップ研修】
- ・地域包括支援センター職員
〔開催日〕平成30年7月24日 〔人数〕23名
- ・調査センター職員
〔開催日〕平成30年8月28日 〔人数〕6名
- ・サービス提供責任者フォローアップ研修
〔開催日〕平成30年5月10日、10月22日、26日、2月6日、8日
〔人数〕17名
- ・相談センター等職員(2日間)
〔開催日〕平成30年7月26日、27日、11月29日、30日
2月14日、15日
〔人数〕16名

イ 部外（派遣）研修

〔研修数〕53回

〔人数〕延べ271名

〔主催者〕北海道社会福祉協議会、北海道社会福祉士会、北海道看護協会、ほくろう福祉協会等、北海道地域ケアマネジメントネットワーク、札幌市、北海道ホームヘルプサービス協議会

④市社協事業連携会議の開催

(2) 役員会等組織の運営

①理事会・評議員会及び監事会の開催

ア 理事会・評議員会

【第1回理事会】

〔開催日〕平成30年6月1日

〔場所〕社会福祉総合センター

〔内容〕平成29年度事業報告、平成29年度決算報告、平成29年度監事監査報告、中期経営計画[第2期]の策定について、諸規程

の改正、評議員候補者の選定について、平成 30 年度第 1 回評議員会の招集について 等

【第 2 回理事会】

〔開催日〕平成 30 年 12 月 11 日

〔場 所〕社会福祉総合センター

〔内 容〕平成 30 年度第 1・第 2 四半期事業・予算等執行状況について、平成 30 年度第 1・第 2 四半期監事監査報告について、中期経営計画[第 1 期]の評価報告について、札幌市生活支援体制整備事業第 2 層運営事業の受託について、西日本豪雨災害及び北海道胆振東部地震について、生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付及び特別緊急小口資金の貸付について、評議員候補者（2 名）の選定について 等

【第 3 回理事会（みなし決議）】

〔内 容〕第 2 回評議員会の招集について

【第 4 回理事会】

〔開催日〕平成 31 年 3 月 29 日

〔場 所〕社会福祉総合センター

〔内 容〕平成 30 年度第 3 四半期事業・予算等執行状況について、平成 30 年度第 3 四半期監事監査報告について、平成 30 年度資金収支予算補正（第 3 次）について、平成 31 年度事業計画（案）について、平成 31 年度資金収支予算（案）について、諸規程の改正について

【第 1 回評議員会】

〔開催日〕平成 30 年 6 月 22 日

〔場 所〕社会福祉総合センター

〔内 容〕平成 29 年度事業報告、平成 29 年度決算報告、平成 29 年度監事監査報告、中期経営計画[第 2 期]の策定について

【第 2 回評議員会】

〔開催日〕平成 31 年 3 月 29 日

〔場 所〕社会福祉総合センター

〔内 容〕平成 30 年度第 3 四半期事業・予算等執行状況について、平成 30 年度第 3 四半期監事監査報告について、平成 30 年度資金収支予算補正（第 3 次）について、平成 31 年度事業計画（案）について、平成 31 年度資金収支予算（案）について、諸規程の改正について、理事（1 名）の選任について

イ 監事会

【第 1 回】

〔開催日〕平成 30 年 5 月 21 日

〔内 容〕平成 29 年度決算監査

【第 2 回】

〔開催日〕平成 30 年 9 月 21 日

〔内 容〕第 1 四半期監査

【第 3 回】

〔開催日〕平成 30 年 11 月 26 日

〔内 容〕 第 2 四半期監査

【第 4 回】

〔開催日〕 平成 31 年 2 月 25 日

〔内 容〕 第 3 四半期監査

②評議員選任・解任委員会の開催

【第 1 回】

〔開催日〕 平成 30 年 4 月 2 日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 評議員の選任について

【第 2 回】

〔開催日〕 平成 30 年 6 月 11 日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 評議員の選任について

【第 3 回】

〔開催日〕 平成 30 年 12 月 17 日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 評議員の選任について

③正副会長会議の開催

【第 1 回】

〔開催日〕 平成 30 年 5 月 29 日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 第 1 回理事会・評議員会上程議案について

【第 2 回】

〔開催日〕 平成 30 年 11 月 28 日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 第 2 回理事会上程議案について

【第 3 回】

〔開催日〕 平成 31 年 3 月 22 日

〔場 所〕 社会福祉総合センター

〔内 容〕 第 4 回理事会・第 2 回評議員会上程議案について

③部会の運営

○施設福祉部会【再掲：14（1）】

④各委員会の開催

⑤市社協・区社協連絡会議の開催

ア 市・区社協会長会議

イ 市・区社協各種会議

・事務局長会議（毎月 1 回開催）

・係長会議（毎月 1 回開催）

・連絡調整会議（原則毎週 1 回開催）、担当者会議（随時開催）

・地域包括ケア・介護事業本部幹部会議（毎月 1 回開催）

・包括センター長、調査センター所長、事業所長会議（毎月 1 回開催）

（3）会員の加入促進

①正会員の整備と賛助会員の増員

ア 賛助会員数推移

	平成 30 年度	平成 29 年度
団 体	72 団体、133 口	47 団体、111.5 口
個 人	228 名、328.98 口	210 名、315 口

②ファンドレイジングによる実践取組

ア 内部研修【15(1)ア】

イ ファンドレイザー育成

(4) 各種基金等の管理・運営

社会福祉基金、矢館福祉基金、八重樫福祉基金、種田福祉基金、
仁和福祉基金、根っ子の会福祉基金、愛情銀行
【寄附の募集】

	平成 30 年度	平成 29 年度
金 額	4,161,259 円	15,288,871 円
件 数	41 件 (内物品) 8 件	43 件 (内物品) 9 件

①基金運営委員会の開催

【第1回】

〔開催日〕平成30年11月29日

〔場 所〕社会福祉総合センター

〔内 容〕平成30年度種田・八重樫福祉基金助成の審査について、平成30年度事業実施状況について（報告）、平成30年度各種基金の運用状況について（報告） 等

【第2回】

〔開催日〕平成31年3月6日

〔場 所〕社会福祉総合センター

〔内 容〕平成30年度各種基金の運用及び充当事業実施状況について
種田・八重樫福祉基金助成報告について
2019年度各種基金運用益充当事業予算（案）について
2019年度債券運用について

(5) 災害対応

①西日本豪雨災害

ア 職員派遣

業 務	派遣先	派遣人数	派遣期間
緊急小口資金特例貸付	岡山県岡山市社会福祉協議会	2名	7/31～8/7
災害ボランティアセンター	広島県東広島市社会福祉協議会	3名	8/1～8/26
災害ボランティアセンター	広島県広島市安芸区社会福祉協議会	1名	9/1～9/7

②北海道胆振東部地震

ア 所属職員の安否確認

イ 利用者等の安否確認

ウ 業務・事業（サービス）への影響

- ・ 会議、研修等の中止及び延期
- ・ 各種サービス提供の中止（介護事業部の一部のサービスは当日も稼働）
- ・ 社会福祉総合センター 9/6のみ 終日閉館
- ・ 老人福祉センター（デイサービスセンター）及び保養センター駒岡 9/6～12 閉館

- ・ 停電、電話不通により連絡調整の停滞
 - ・ A T Mの使用停止による金銭管理サービスの停滞
- エ 緊急対応の実施
- ・ 地区民児協会長を通じて、民生委員・児童委員の安否確認と、巡回相談対象世帯の被災状況についての状況把握を依頼
 - ・ 札幌市の配食サービス利用者で、介護保険サービスの利用がない方66名に対して、民生委員に安否確認を要請（依頼）
 - ・ ボランティア活動保険震災特例対応受付開始（9/7～）
 - ・ 区社協へ定時連絡依頼（9/7）
 - ・ 9/30までの土日祝日特例開所（保険受付等）
 - ・ 災害ボランティア（既登録者）への情報提供開始（9/10～）
 - ・ 市社協災害ボランティア登録フォーム公開（9/12～）
 - ・ ボランティア活動センターFB（フェイスブック）開設（9/13～）
 - ・ 地域住民一時受入
 - ・ 一般高齢者の安否確認
 - ・ 携帯充電受入
 - ・ 給水所からマンション上層階への水の運搬
 - ・ 避難所への移動介助
 - ・ 非常用飲料水の配布
 - ・ 利用者宅の片付け・清掃
 - ・ 食糧品の購入や調理など食糧の確保
 - ・ 区役所に相談し、まちセンに備蓄する非常食を、地区福まちから区民（高齢者等を支援する民生委員、ヘルパーなど）へ配布できるよう調整
- オ その他情報収集
- ・ 金融機関の復旧状況
 - ・ ライフライン及び避難所・給水所等情報
 - ・ 受入可能な病院
 - ・ 充電スポット
 - ・ 営業している店舗情報
 - ・ 高速道路無料措置手続
 - ・ 札幌市災害対策本部動向（災害ボランティアセンター設置要請状況）
 - ・ 胆振東部3町災害ボランティアセンター設置・運営状況
 - ・ 道社協災害ボランティアセンター運営状況
- カ 課題
- ・ 災害時対応マニュアルの周知不足や内容の修正・再整備の検討
 - ・ 広範囲での停電、電話不通時の職員及び利用者との連絡手段の確立

[16] 関係機関との連携促進・ネットワーク構築

(1) 地域活動団体、施設及び専門機関との連携の推進

①地域福祉ネットワーク事業

地域福祉のネットワークづくりへの支援

②札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会の運営支援

③札幌市介護支援専門員連絡協議会への協力

(2) 札幌市民生委員児童委員協議会との連携及び事業に対する協力

〔会員数〕 2, 847名

- ①理事会及び専門部会の開催
- ②札幌市民生委員児童委員大会及び研修会の開催・参加
- ③広報活動

(3) 札幌市福祉友の会との連携及び協力

〔会員数〕 132名

- ①社会福祉向上のための協力参加
- ②各種研修会の開催
- ③会員相互の親睦

(4) 札幌市老人福祉施設協議会との連携及び協力

〔会員数〕 102施設

- ①役員会、施設長会議の開催
- ②各種研修会の開催・参加など
- ③災害支援及び災害対応

(5) 札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会との連携及び協力

〔会員数〕 13施設

- ①総会、役員会、会議の開催
- ②各種研修会の開催
- ③合同避難訓練の実施、災害支援及び災害対応

(6) 札幌市共同募金委員会との連携及び募金運動に対する協力

〔単位：円〕

		平成30年度	平成29年度	比較増△減
募金実績		92,979,836	96,109,217	△3,129,381
内 訳	一般募金	90,671,539	93,542,787	△2,871,248
	歳末募金	2,308,297	2,566,430	△258,133

- ①会長会議、運営理事会の開催
- ②感謝状贈呈式の開催
- ③助成の実施
- ④各種募金運動・広報活動の実施
- ⑤未来懇談会の開催（7/26、8/31、2/19）

(7) 札幌市ボランティア連絡協議会との連携及び協力【再掲：〔2〕（6）①】

(8) 札幌市在宅福祉活動団体連絡会との連携及び協力【再掲：〔2〕（6）②】